



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成24年6月調査分)

《景気の現状判断DI》

	平成24年3月	平成24年6月	前回調査比
茨城県	48.2	46.7	△1.5
県北地域	49.1	42.4	△6.7
県央地域	50.0	44.5	△5.5
鹿行地域	49.1	49.1	0.0
県南地域	48.2	54.4	+6.2
県西地域	44.9	43.6	△1.3

《景気の先行き判断DI》

	平成24年3月	平成24年6月	前回調査比
茨城県	49.1	45.1	△4.0
県北地域	47.7	42.8	△4.9
県央地域	49.5	45.9	△3.6
鹿行地域	52.2	48.7	△3.5
県南地域	47.3	47.1	△0.2
県西地域	48.6	40.9	△7.7

平成24年7月

茨城県企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
3	回答率	10
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

統計課庶務・企画分析グループ TEL:029-301-2642

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.html>

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市及び郡は以下のとおりである。

※平成24年6月1日現在

地域	市 及 び 郡
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、東茨城郡
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客体数】

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	39	37	36	188
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業	19	17	16	19	20	91
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	4	5	4	4	21

3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

4 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成24年6月調査の調査期間は、平成24年6月1日から平成24年6月30日である。

5 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方向性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方向性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

II 調査結果の概要

1 全県の動向

(1)景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは46.7となった。平成24年3月の調査（以下、「前回調査」という。）より1.5ポイント低下し、横ばいを表す50を19期連続で下回った。

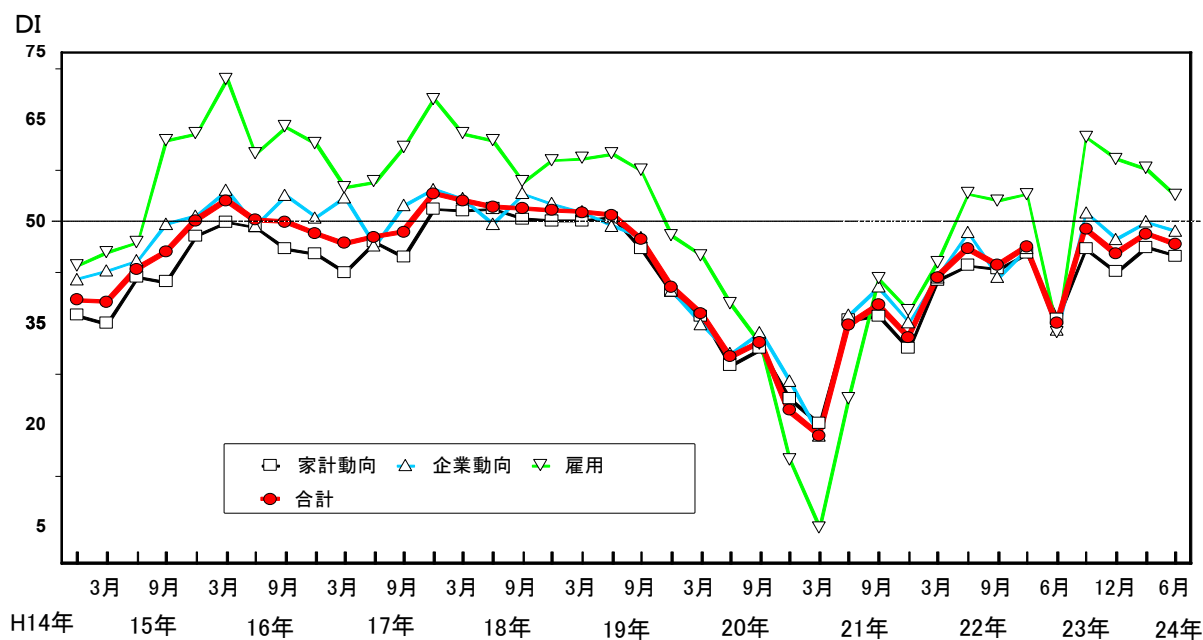
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	平成23年 6月	平成23年 9月	平成23年 12月	平成24年 3月	平成24年 6月
合計		35.1	48.9	45.3	48.2	46.7
家計動向関連		35.7	46.0	42.7	46.2	44.9
小売関連		38.2	42.9	39.1	48.5	41.5
飲食関連		48.4	42.1	55.0	38.2	55.6
サービス関連		31.5	50.3	43.7	46.5	45.1
住宅関連		30.6	44.4	40.6	41.7	47.2
企業動向関連		34.1	51.3	47.4	50.0	48.6
農林水産業		15.6	40.6	43.8	40.6	43.8
製造業		35.7	50.6	44.8	45.3	47.3
非製造業		36.7	54.7	51.4	58.1	51.4
雇用関連		33.7	62.5	59.2	57.9	53.9

表1-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 6月	2.9%	18.2%	22.5%	29.1%	27.3%
平成23年 9月	2.1%	29.3%	38.6%	22.1%	7.9%
平成23年12月	2.6%	17.6%	46.2%	26.0%	7.7%
平成24年 3月	1.5%	21.9%	53.2%	14.9%	8.6%
平成24年 6月	1.8%	21.6%	42.8%	29.1%	4.7%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは45.1となった。前回調査より4.0ポイント低下し、横ばいを表す50を18期連続で下回った。

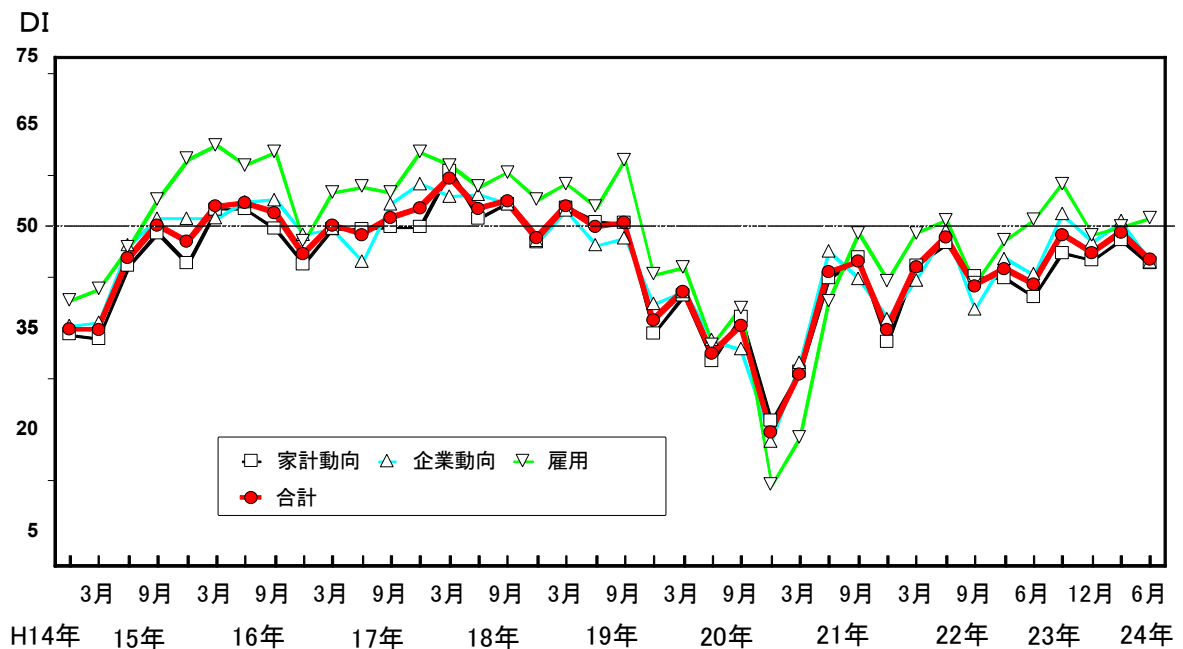
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		41.5	48.7	46.1	49.1	45.1
家計動向関連		39.6	46.2	45.0	48.0	44.6
小売関連		38.6	44.3	45.3	48.5	44.4
飲食関連		51.6	44.7	48.3	51.5	48.6
サービス関連		37.3	49.3	44.6	46.5	44.1
住宅関連		44.4	38.9	40.6	50.0	41.7
企業動向関連		43.0	51.9	47.7	50.9	44.7
農林水産業		31.3	53.1	50.0	43.8	53.1
製造業		43.5	53.1	45.9	49.4	42.4
非製造業		45.3	50.0	49.3	54.4	45.7
雇用関連		51.1	56.3	48.7	50.0	51.3

表1-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 6月	2.9%	19.3%	35.3%	26.2%	16.4%
平成23年 9月	1.8%	23.9%	47.5%	20.7%	6.1%
平成23年 12月	1.1%	15.1%	58.5%	18.0%	7.4%
平成24年 3月	0.7%	23.4%	52.4%	18.2%	5.2%
平成24年 6月	0.4%	15.5%	52.2%	28.1%	4.0%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは42.4となった。前回調査より6.7ポイント低下し、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		31.8	51.3	44.5	49.1	42.4
家計動向関連		30.0	47.3	41.4	46.3	39.2
企業動向関連		38.3	60.9	48.5	52.9	46.1
雇用関連		25.0	50.0	58.3	58.3	58.3

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 6月	3.6%	18.2%	9.1%	40.0%	29.1%
平成23年 9月	3.5%	29.8%	40.4%	21.1%	5.3%
平成23年 12月	1.8%	21.8%	43.6%	18.2%	14.5%
平成24年 3月	1.9%	24.1%	53.7%	9.3%	11.1%
平成24年 6月	0.0%	20.3%	33.9%	40.7%	5.1%

② 県央地域

景気の現状判断DIは44.5となった。前回調査より5.5ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		35.9	50.0	46.8	50.0	44.5
家計動向関連		37.1	47.1	41.2	48.3	43.6
企業動向関連		31.3	53.1	54.4	52.9	47.1
雇用関連		43.8	60.0	66.7	50.0	41.7

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 6月	3.6%	21.8%	20.0%	23.6%	30.9%
平成23年 9月	3.6%	29.1%	36.4%	25.5%	5.5%
平成23年 12月	1.9%	24.1%	38.9%	29.6%	5.6%
平成24年 3月	4.0%	16.0%	60.0%	16.0%	4.0%
平成24年 6月	0.0%	23.6%	40.0%	27.3%	9.1%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは49.1となった。前回調査と変わらず、横ばいを表す50を18期連続で下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		38.6	44.9	43.4	49.1	49.1
家計動向関連		41.9	39.9	41.7	50.0	52.7
企業動向関連		35.3	48.5	45.3	43.3	42.2
雇用関連		25.0	70.0	50.0	60.0	45.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 6月	3.6%	20.0%	25.5%	29.1%	21.8%
平成23年 9月	0.0%	30.5%	32.2%	23.7%	13.6%
平成23年 12月	3.5%	12.3%	49.1%	24.6%	10.5%
平成24年 3月	0.0%	26.8%	48.2%	19.6%	5.4%
平成24年 6月	1.7%	22.4%	50.0%	22.4%	3.4%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは54.4となった。前回調査より6.2ポイント上昇し、横ばいを表す50を3期ぶりに上回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		34.5	51.4	45.9	48.2	54.4
家計動向関連		34.8	47.1	41.7	46.2	48.3
企業動向関連		35.3	55.4	52.8	51.4	61.8
雇用関連		30.0	70.0	50.0	50.0	68.8

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 6月	3.6%	10.9%	30.9%	29.1%	25.5%
平成23年 9月	1.9%	28.3%	47.2%	18.9%	3.8%
平成23年 12月	3.6%	14.5%	49.1%	27.3%	5.5%
平成24年 3月	1.8%	18.2%	56.4%	18.2%	5.5%
平成24年 6月	3.9%	27.5%	51.0%	17.6%	0.0%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは43.6となった。前回調査より1.3ポイント低下し、横ばいを表す50を19期連続で下回った。

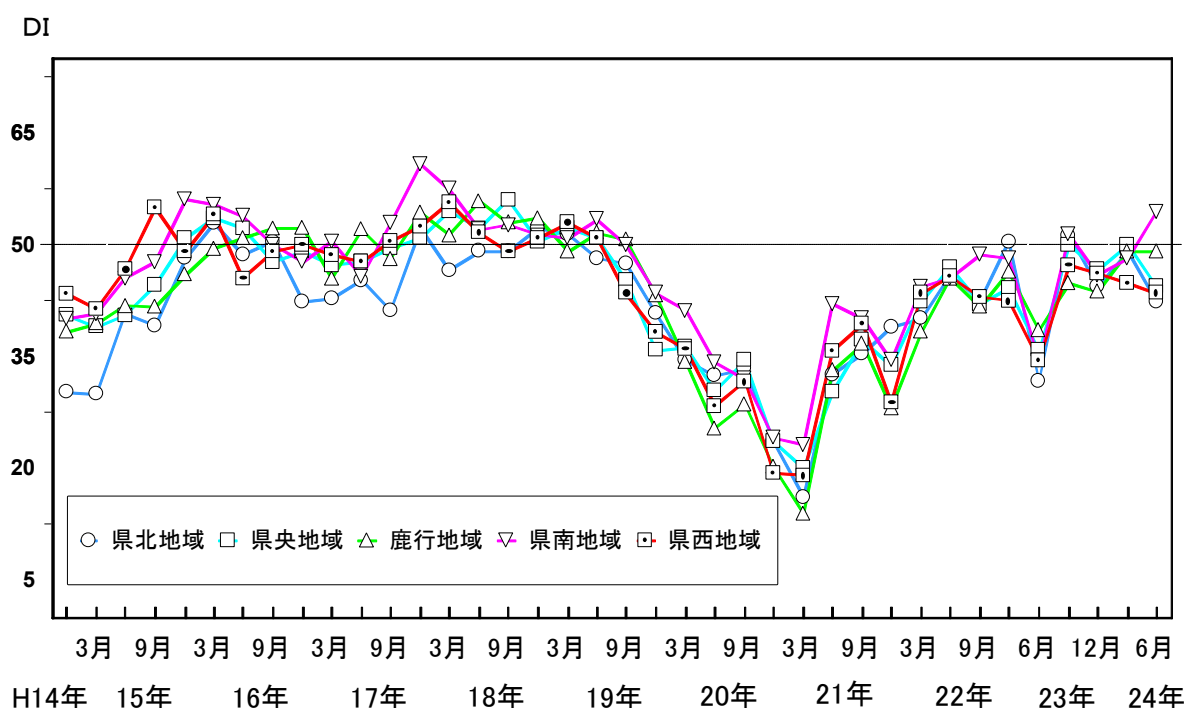
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		34.5	47.3	46.2	44.9	43.6
家計動向関連		34.4	48.5	48.3	39.8	40.3
企業動向関連		31.9	41.7	36.8	48.6	46.3
雇用関連		45.0	60.0	75.0	68.8	56.3

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 6月	0.0%	20.0%	27.3%	23.6%	29.1%
平成23年 9月	1.8%	28.6%	37.5%	21.4%	10.7%
平成23年 12月	1.9%	15.4%	50.0%	30.8%	1.9%
平成24年 3月	0.0%	24.1%	48.1%	11.1%	16.7%
平成24年 6月	3.6%	14.5%	40.0%	36.4%	5.5%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは42.8となった。前回調査より4.9ポイント低下し、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		39.5	52.2	43.2	47.7	42.8
家計動向関連		35.7	52.0	41.4	43.4	41.9
企業動向関連		41.7	54.7	45.6	54.4	43.4
雇用関連		60.0	43.8	50.0	58.3	50.0

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 6月	3.6%	16.4%	34.5%	25.5%	20.0%
平成23年 9月	0.0%	31.6%	49.1%	15.8%	3.5%
平成23年 12月	0.0%	16.4%	52.7%	18.2%	12.7%
平成24年 3月	1.9%	18.5%	55.6%	16.7%	7.4%
平成24年 6月	0.0%	15.3%	47.5%	30.5%	6.8%

② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは45.9となった。前回調査より3.6ポイント低下し、横ばいを表す50を19期連続で下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		37.3	48.2	46.7	49.5	45.9
家計動向関連		35.7	44.9	43.9	49.1	45.0
企業動向関連		40.6	53.1	51.5	51.5	48.5
雇用関連		37.5	55.0	50.0	50.0	41.7

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 6月	3.6%	18.2%	23.6%	32.7%	21.8%
平成23年 9月	1.8%	25.5%	45.5%	18.2%	9.1%
平成23年 12月	1.9%	18.9%	49.1%	24.5%	5.7%
平成24年 3月	2.0%	24.0%	48.0%	22.0%	4.0%
平成24年 6月	0.0%	14.5%	58.2%	23.6%	3.6%

③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは48.7となった。前回調査より3.5ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		41.8	44.5	46.1	52.2	48.7
	家計動向関連	40.4	37.8	44.4	52.8	51.4
	企業動向関連	45.6	54.4	50.0	53.3	42.2
	雇用関連	37.5	60.0	45.0	45.0	50.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 6月	3.6%	18.2%	38.2%	21.8%	18.2%
平成23年 9月	1.7%	18.6%	44.1%	27.1%	8.5%
平成23年12月	1.8%	12.3%	64.9%	10.5%	10.5%
平成24年 3月	0.0%	32.1%	50.0%	12.5%	5.4%
平成24年 6月	1.7%	17.2%	58.6%	19.0%	3.4%

④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは47.1となった。前回調査より0.2ポイント低下し、横ばいを表す50を18期連続で下回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		46.8	48.6	44.5	47.3	47.1
	家計動向関連	47.7	45.6	43.9	51.5	48.3
	企業動向関連	45.6	50.0	47.2	38.9	42.6
	雇用関連	45.0	65.0	37.5	50.0	56.3

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 6月	1.8%	21.8%	47.3%	20.0%	9.1%
平成23年 9月	3.8%	17.0%	54.7%	18.9%	5.7%
平成23年12月	0.0%	9.1%	65.5%	20.0%	5.5%
平成24年 3月	0.0%	18.2%	60.0%	14.5%	7.3%
平成24年 6月	0.0%	13.7%	60.8%	25.5%	0.0%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは40.9となった。前回調査より7.7ポイント低下し、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

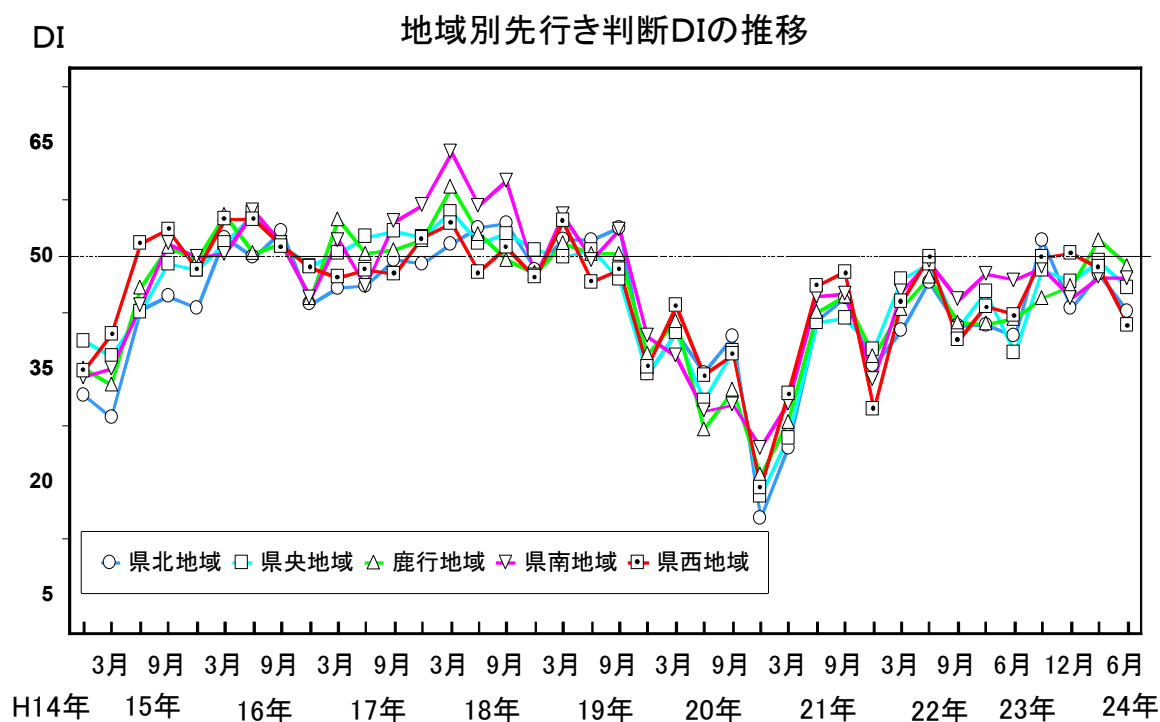
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		42.3	50.0	50.5	48.6	40.9
	家計動向関連	38.3	50.0	52.6	43.8	35.5
	企業動向関連	41.7	48.6	44.7	56.9	46.3
	雇用関連	70.0	55.0	62.5	50.0	56.3

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 6月	1.8%	21.8%	32.7%	30.9%	12.7%
平成23年 9月	1.8%	26.8%	44.6%	23.2%	3.6%
平成23年12月	1.9%	19.2%	59.6%	17.3%	1.9%
平成24年 3月	0.0%	24.1%	48.1%	25.9%	1.9%
平成24年 6月	0.0%	16.4%	36.4%	41.8%	5.5%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



3 回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	278 人	92.7%
県北地域	60 人	59 人	98.3%
県央地域	60 人	55 人	91.7%
鹿行地域	60 人	58 人	96.7%
県南地域	60 人	51 人	85.0%
県西地域	60 人	55 人	91.7%

Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	商店街代表者	新規を含め、客からの問合せが増えて来ている。金曜の夜など、若者の街への飲食の数が増えている。
		コンビニエンスストア	高速無料化の終了、風評被害の減少から、一般道路の交通量も増え、週末の売上の回復や作業員の来店が増加してきている。
		小売業（時計）	高額品が動くようになってきた。（高額所得者等がお金を使うようになってきている）
		スナック	お客様が少しだけ増えた様思う。
		和食食堂	日曜日は定休日ですが、宴会の申し込みがあれば引き受けることにしました。
		ゴルフ場	4～6月の毎月の初日(1日時点)の予約確保ベースは前年比131%。4、5月の来場者は9%、6月分を入れて112%になる見込み。心配材料は雨天乱調で、キャンセルが159%で増加している。
		レジャー施設	少しずつではあるが、客単価が上昇傾向にある。
	企業	水産業関係者	県北の水産は、原発事故の影響で、実害、風評被害等で小型船にあっては出漁出来ないが、東電の賠償金で普通の生活が出来る様になった。又、小型トロール船は、「ヤリイカ」の近年にない豊漁が連続的に続いていて、好景気である。巻網船にあっては、中漁で推移している。総合的には、やや良くなっていると思われます。
		製造業（一般機械器具）	受注量が多くなってきている。
		製造業（輸送用機械器具）	全体的に、受注量が3月頃に比べて増えている。
		不動産業	扱っている分譲地・マンションなどは比較的順調に推移している。
	雇用	学校就業関係者	公共職業安定所から紹介される職業訓練受講者の応募者数が減っている。
	変わらない	家計	コンビニエンスストア
衣料品販売店			震災から1年が過ぎましたが、依然として、衣料品関係はお客様が少ない。
小売業（工具）			得意先の設備投資に対する積極的な意欲がない。理由として、震災復興に対する需要はこれからも充分にあると思われるが、円高やヨーロッパの経済状況の不安感から、経済活動の消極的要因があるからと思われる。
レストラン			人の流れから、景気も変わらないと判断した。
民宿			福島第一原発事故の終息と、その風評被害が無くならないと、この地域では動きは無いと思われる。
旅行代理店			日帰り旅行者が泊旅行にならない。（単価アップにならない）
ゴルフ場			ゴルフ場もトップシーズンに入り、通常であれば首都圏からの来場も増え、単価の高いお客様が増える時期であるが、コンペ件数が増えないため、優待料金を出して地元のお客様を集客している状況である。安いプレー料金のコースを探し、プレー回数を減らさないように努力をしているお客様が増えている傾向にある。
住宅販売会社		特に大きな動きがある訳ではない。	
企業		製造業（製缶）	売上が前年比、前月比とも横ばいである。
		製造業（電気機械器具）	作業量が横ばいである。
		製造業（電気機械器具）	復興需要はまだ続いているが、生産能力の上限になっているので、これ以上の売上増加はない。
		製造業（電気機械器具）	3か月前と同等の生産台数、売上高を確保している。
		製造業（輸送用機械器具）	国内はエコカー減税延長により予想を上回る販売となっているが、海外向けは地産地消の方針により海外輸出が減少方向であり、トータルでは減産基調に変わりなし。
		建設業	一時の人手不足感はずちづち落ちついてきたものの、仕事量は多く、お客様からも比較的忙しい状況が続いていると聞いている。
		情報通信業（情報サービス業）	3か月前と比較しても商談は変わらない。
	金融業	中小零細企業の受注状況は依然として低迷しており、今後の見通しも不透明なことから、設備面の資金需要が伸び悩んでいる。また、返済額軽減等の条件変更の相談が多く、回復基調にないことが推測される。個人の方は、収入の減少や震災による貯蓄ニーズの高まりから、消費控えが依然として続いている。	
サービス業（広告業）	年度が変わっても、新しい動きはあまりない。		
雇用	公共職業安定所	4月の新規求人数は、前年同月比21.3%と13か月連続での増加となった。前月との対比では、-3.8%と若干減少した。震災から約1年が経過して、卸売業、小売業、サービス業での増加が目立ってきている。職種別では、サービスの職業が前年同月比で114.6%と増加が著しいものの、パート求人の割合が55.1%を占めている状況である。	
	求人開拓員	県北の製造工場では、派遣の作業員募集が出てきたが、景気改善の生産量増加よりも、一時的な作業員不足解消の為との事。	

や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	原発関係業種の解雇がある（派遣雇用者）。経済環境（欧州債務危機）の悪化による消費マインドのますますの低下等の影響がある。
		スーパー	客数の前年比が悪化している。
		スーパー	高級な桃・メロンが、原価割れの特売を行ってもなかなか売れない。給料が減っているため節約志向のようだ。
		スーパー	前回の傾向と同様、客単価が下がり続けている。
		金物・荒物・建築資材	売上が減少している。
		自動車販売店	減税や補助金政策の追い風もあり、消費が活発になってきた感があったが、動きが鈍くなったところに自然災害が重なり、今は動きが止まり大変厳しい状況である。
		小売業（燃料）	金額でも数量でも、買い控え、節約の傾向にあると思う。
		小売業（酒類）	大手企業では、今年は連続9日間の大型連休となったため、街も閑散とし、得意先の飲食店も多くのところが連休した結果、影響が大であった。
		小売業（水産物）	他県からの観光客が今もなお減少している。お買い物の客単価が減少している。鮮魚離れが続いている。
		居酒屋	宴会がない。来店客が少ない。
		観光型ホテル	前年同期と比較して、日帰り宴会等はほぼ横ばいとなっているが、宿泊利用が減少している。
		タクシー運転手	大口使用者の仕事が減っている。
		タクシー運転手	売上が減少している。
		タクシー運転手	大手企業のボーナス支給があったが、それが飲食店街での消費に反映していない。水曜日、金曜日はタクシーが忙しくなるが、大したことはない。
		タクシー運転手	1日平均の売上げが4000円程度落ちたため。
		ドライブイン	震災の後よりも、今の方が客数が減少気味である。客単価も平均で100円ほど下がっている。
	ボウリング場	来場人数が減っている。	
	理・美容店	4月、5月の売上げが前年より5%～10%低く、客数も少ない。	
	クリーニング店	客単価、及び、客数ともに減少している。	
	企業	林業関係者	木材単価が下がりきみで、量的に木材が市場に少なくなってきた。仕事の量も減りきみである。
製造業（精密機器）		発注者の予算枠が減っている気がする。	
製造業（電気機械器具）		受注量の減少。電気料金値上げによるコスト高（経費の増加）。	
製造業（電気機械器具）		会社全体を通して見た場合、残業や休日出勤が減少している。多忙な部署はごく少数である。	
運輸業		企業・工場の震災の需要が少なくなり、通常稼働に戻ってきた。また、福島方面の荷物が減少してしまった。	
家計	観光型ホテル	県北地域において、連休以降の観光客の動きがない。梅雨明け後に多少期待がもてると思われる。また鮎が解禁したとはいえ、例年のごとく6月中はあまり見込めない。	
	ゴルフ場	震災から1年以上が経過し、3か月前はゴルフプレー入場者数、宿泊者数が回復傾向にありましたが、4月、5月に入り、入場者数、宿泊者数が減少傾向にあります。	
企業	製造業（電気機械器具）	感覚的には3か月前と変わらないが、世界経済危機などの影響により、生活がまだ安定していない様子。	

(2) 県央地域 【現状】

(ー：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	ー	ー	ー
やや良くなっている	家計	スーパー	3か月前と比較すると、客数、売上げともにわずかですが伸びてきています。最近、小さなお子様連れの若いお客様が来店されています。
		レストラン	個人利用、法人利用が増えて来ている。
		旅行会社	仕事の電話が多くなってきている。旅行会社からも問い合わせが多い。
		ドライブイン	東北のお客様も来園されるようになり、バスも少しずつではありますが来ています。
		レジャー施設	県内で不動産業を営む方は風評の影響で景気は悪いとのことだが、製造業や土木建築業の方については好景気だと聞くことが多い。(利用者から聴取)
		レジャー施設	入場者に関しては、回復傾向にある。また、土産品の売上げも回復してきている。
		理・美容店	最近閉店した美容室があるので、当店への来客が増えている。
	企業	製造業(印刷・同関連業)	景気の回復としてはまだまだだが、トータルでは売上が少し伸びている。
		製造業(金属製品)	夏から秋にかけての案件が、かなり動き出している。見積り件数、受注量も、3か月前に比べると改善されてきた。
		製造業(一般機械器具)	今年5月まではやや良くなっていると答えましたが、6月からは何とも言えません。自動車の一部、建設機械の一部が良かったです。
		サービス業(コンサルティング)	仕事先の小売店や飲食店の前年同月比を比較すると、3か月前と同じかやや良くなった店舗が多い。もちろん、昨年3月の大震災で落ち込んだ反動で数字が改善した店舗がほとんどであるが、来店客数の増加や新規顧客の獲得など目に見えてわかるようになってきた。
		サービス業(広告業)	年度が変わったためか、新規の案件等が出始めた。
	雇用	求人開拓員	来所者人数も3月度をピークに減少しつつある。しかし、求人人数は多い。長引く失業生活から諦める方や、内職希望者が多いです。
	変わらな	家計	商店街代表者
百貨店、総合スーパー			客単価が前年と比較すると伸びており、必要なものは価格が高くても購入する傾向にある。その傾向が継続している。
百貨店、総合スーパー			大口のまとめ買いや衝動買いのお客様の数はさほど変わらず、また、お客様の声としても「本当はもっと欲しいのだけど・・・」という声も聞こえる。
コンビニエンスストア			来店客数に変化がなく、客単価も安定している。
家電販売店			品物の動きが悪い。なかなか買い替えが無い。
農産物直売所			昨年同様、バーベキューに来られる家族連れや団体客は、平成22年に比べ激減のままであり、県外ナンバーの車の来場は少ないままである。
レストラン			各企業では総会の時期になっており、会合等でも景気が良くなっている話は耳にしない。また、レストラン利用も大きく変わったことはない。
レストラン			新年度より続いている良い景気は継続しています。3か月前と変わらず良い状態です。
都市型ホテル			業界に関係なく、好転した話もないが、悪くなっている話もあり聞かない。
観光型ホテル			原発風評の影響が残り、ファミリー層の動きが悪く、しばらくはこのような状態が続くと思う。
観光名所		昨年同時期は震災復興ムードもあり、一時的に売上を伸ばした事もあったが、今年は例年並に推移している。	
ゴルフ場		原発事故の風評被害などの影響により、いまだ来場者数に回復が見られず、その上、プレー費のサービス(値下げ)等収入を圧迫する要因ばかりが目立っております。	
理・美容店		「やや良くなっている」と答えるほど良くなっているとは思いますが、若干景気が良くなっているように思いました。	
住宅販売会社		ゴールデンウィークもあまり変化なし。	
企業	製造業(食料品)	売上、来店客数とも大きな変動は見られず、全体として変わらない。	
	建設業	震災前の停滞感は無いが、仕事に動きが見られる。	
	運輸業(道路貨物運送業)	エコカー補助金、減税により、原材料は動いている。	
	情報通信業(情報サービス業)	顧客の様子から、景気の上向き気配を感じてはいるが、これも業種によってかなりバラつきがある。弊社業界の市場も、少しずつ動きが出て来てはいるが、競合が激化し、条件や価格面において、一層厳しさを増しており、全体的な感触として景気が良くなっているとは思えない。	
	金融業	小売、製造業の売上は横ばいである。消費者の購買欲も変わらず、各企業も設備資金等に慎重な姿勢をみせている。	
	サービス業(広告業)	広告宣伝チラシや営業ツールなど、依頼件数は伸びていない。復興意欲の息切れか?	

や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	相変わらず中心商店街は景気が悪く、悪い状態が継続しております。当店においても、来店客数が減少しています。
		スーパー	客単価の下落が見受けられる。外食、弁当の価格低下の競争など、デフレが激しい。
		スーパー	お買上げ金額が減っている。安いものしか売れなくなっている感じで、皆、節約しているように思う。
		スーパー	震災以降、客単価が上昇せず、前年を下回る数値になっている。無駄な物は買わない傾向が一層強まっている。
		コンビニエンスストア	昨年と比較して、コンビニエンスストアが販売優位であったタバコの売上及び、客数が減少している。買上点数、客単価も下降トレンドであり、市場でもあまり景気が良くなっているとは考えにくい。
		自動車販売店	買い替え需要も一巡した感じがあります。エコカー補助金も、今後の注文には間に合わず、お客様も乗り替えない方が増えていきますので、今後、受注減になる事が考えられます。
		スーパー	ここにきての株安・円高、消費税増税など、不安を煽る話題が満載であり、何をすることも質素節約が頭から離れず、お金を使う人が減ったと思います。
		都市型ホテル	大手半導体事業所の大リストラ等の影響をはじめとして、ビジネス客の宿泊が鈍化しているため、景気はやや悪くなっている。
		タクシー運転手	4月の営業回数は約2000回、5月の営業回数は約1800回、その差は200回です。一日平均ですと6、7回です。ゴールデンウィークがあったということを差し引いてもちょっとひどい状態です。このままじりじりと営業回数が減っていく様な気がしてならないです。
	建築設計事務所	災害復旧工事の関連業務が概ね落ち着いてきた。また、身近な建築会社の倒産もあり、今後が心配である。	
	企業	農業関係者	5月の降電被害により、農作物や農業施設に大きな損害が発生し、打撃となっている。
		製造業（印刷・同関連業）	受注量が減少している。
		製造業（窯業・土石製品）	受注額・受注件数が減少している。
雇用	人材派遣業	売上はやや減少している。受注はあるが、マッチングに苦労している。	
	公共職業安定所	有効求人倍率は3月と比べ低下しており、これは例年見られる傾向であるが、対前年同月比でみた場合、これまで同様増加では推移しているものの、増加幅が3月に比べ低下している状況である。	
悪 く な っ て い る	家計	専門スーパー	3か月前までは、客数、客単価共に昨年を超え、震災需要が引き続いていた感があったが、今月に入ってから、客単価は維持できているが、客数減が続いている。
		タクシー運転手	4月以降、売り上げが低迷している。
		カラオケ店	前年のデータが使えるとは限らないが、3か月前と現在では前年対比で下がっている。
	企業	製造業（食料品）	原発風評被害により、観光客が戻らない。
		製造業（精密機械器具）	悪くなっている状況ではあるが、3か月前の3月は弊社のお客様の大半は年度決算月であり、年度予算の都合で当月受注・当月出荷が増加傾向となり、その年度で売上も大きく変化します。そのため、通常であれば6月はわが社の平均的な売上ですが、3月との比較では悪くなります。

(3) 鹿行地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	農産物直売所	客単価が好調である。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	震災で被った屋根等の修理工事もほとんどの方が自力で完了しつつあり、わずかであるが、日常生活の消費のため足を運ぶお客さんが増えていると思います。私のエリアのお客は9割が農家です。風評被害に負けず、立派です。
		自動車販売店	地震の復興のために、建設業者等の工事がよく動いていると思う。又、神栖市は、コンビナート地区のためか、人の動きが多い。
		小売業（酒類）	麦酒、高級洋酒、又、飲食店向けの商品（生ビール・焼酎）等の販売データがやや回復傾向にある。
		割烹料理店	例年と言えば暇な月だが、すでに予約が結構入って来ている。常連のお客さん以外に、新規のお客さんが増えてきた。
		日本料理店	他業種の仕事が少し増えたようで、接待の予約が増えてきた。
		タクシー運転手	石油コンビナートの定期修理と、東京電力の発電所工事が重なり、売上げは順調に伸びています。その分を差し引いて、3月と比べるとあまり変わっていないと思いますが、最近チップの回数が多くなってきているので、やや上向きかと思われます。
		ゴルフ場	3か月前と比べて来場人数の増加、客単価の上昇など、景気がやや良くなってきているのではないかと思います。
		理・美容店	時期的なものもあるが、震災から1年が過ぎ、だんだん元の生活に戻りつつある。
		理・美容店	固定客の来店サイクルが多くなった。(3~4か月に1回が2~3か月に1回など)
		団体	たばこの売上が前年比並に戻ってきている。ドリームジャンボの売上も若干伸びた。
企業	企業	製造業（食料品）	毎年の事だが、コンビナートの定期修理の期間で売上げは良くなっている。昨年の震災の影響で期間も長引き、近くの民宿等も工事関係者の宿泊客も多く、早朝から客数が増えている。しかし、祝い事が昨年同様減少しており、伸びは少ない。
		建設業	震災で壊れた家の改修が少し多くなった。
変わらない	家計	商店街代表者	消費意欲は依然として低迷し続けていて、無駄な物は買わない、ついで買いをしないなど、消費者の緊縮モードが継続している。
		スーパー	生鮮品(野菜、魚、肉)の相場が、高くもなく安くもなく買い易い、売り易い価格帯で安定しており、地場野菜なども好評に販売できている。震災の風評もかなり減り、問合わせも少ない。
		スーパー	お買い得商品、特に、限定、日替わり商品に対してのお客様の支持が異常に高い。
		コンビニエンスストア	震災復興の道路工事、コンビナートの定期修理も、4月末にスタートし、コンビニエンスストアに対する利便性や需要は拡大し続けています。3か月前との比較では、変化は感じられません。
		コンビニエンスストア	震災後1年以上経過し、来客される客層は拡大していると感じますが、客数は伸び悩みの状況であり、新たな商品の推奨や売り方の工夫によって、消費の喚起とサービスを提供することで現状維持を保っている状況である。
		家電販売店	テレビの売上は依然として厳しい状況にある。
		小売業（菓子販売店）	3か月前の前年比と今月の前年比を比べても、さほど変わりはない。
		小売業（金物店）	道路関係の仕事は忙しいが、その他は変わらないと思う。
		小売業（書店）	高価なものでもお買い求めいただけるが、余計なものをついでに買うことがない。
		タクシー運転手	春先の3月頃と同様、目立つ変化が感じられない。また、業務中の客の会話等でも変化がないと感じる。
		タクシー運転手	企業のお客さんが大部分（日中）で、なおかつ大規模な工事等があり、動いてはいるが景気という面では変わらない。(但し期間限定ではあるが現状は少し動いている)
		タクシー運転手	1~2時間の乗車率は相変わらず、大手企業工場への出張も少ない。また、夜の飲食関係の乗車も少ない。
		ゴルフ練習場	客の入場者数、利用平均単価が変わらないので、変わらないと思います。
		室内装飾業	新築、増築など幾分、兆しが見えるが、なかなか仕事が回ってこない。
住宅販売会社	結論を延ばすお客様が増えている。		
住宅販売会社	住宅をご計画される方からのお話でも、景気が上向いたようなお話が出ない。		
企業	企業	製造業（食品）	季節要因（人事異動、決算等）を除けば、人の動きは変わっていない。
		製造業（化学工業）	新年度を迎え、荷動きは多少増加したものの、とても回復基調とは言えない。業種による温度差も大きい。また、直近の原燃料価格下落により、進めていた価格交渉も見合わせざるを得ない状況で、業績への悪影響を懸念している。

変 わ ら な い	企業	建設業	建設業界は3月決算の会社が多く、新年度に向けての受注は、まだこれからの感があり、変わらない、もしくは、やや悪い状況と感じます。
		製造業（鉄鋼業）	震災復旧もひと段落して来たが、その後大きな変化はない。
		金融業	災害復旧に関する企業・個人はやや上向きに推移するも、全体的には設備資金等の需要は少なく、現状維持の状況が続いています。今後も、急激な変化は無いと思います。
	雇用	民間職業紹介業	求人企業は多少増加傾向にあるが、求職者の要望とのギャップによりマッチングまでいかない。
		公共職業安定所	建設、土木関係では、求人の動きもあり業況良いが、他の業種ではさほど良いとの感触は見られない状況である。
		学校就職関係者	求人企業からの問い合わせが少ない。
		就職支援センター	雇用状況は全体的にみて横這いの状況にある。求人と求職のミスマッチが目立っており、企業が求める資格や資質のハードルをクリアする案件が少ない。
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	仕事が減っているし、先の予定がない。
		小売業（薬品店）	ここ1～2か月は客数が大分減っている。
		衣料品販売店	来店客数の減少から、やや悪くなっていると判断した。
		洋食食堂	5月の連休後、お客様の動きが悪くなった。
		ドライブイン	観光シーズンになっても震災前のような賑わいが無い。
		クリーニング店	以前、ワイシャツをクリーニングに出していたお客様が家で洗濯して出さなくなり、衣替えのスーツだけになり、特売日だけ持ってきています。洗剤もおしゃれ着などが洗えるものも出て、家計をきりつめている。
	企業	農業関係者	気温の低い状況が続いていたため、メロンの出荷時期が約1か月遅れてしまった。露地物野菜全般も影響を受けている。
		製造業（化学工業）	業績悪化に伴い、中元賞与も減額が決定した。
		運輸業（道路貨物運送業）	4月初めから貨物は順調に動いていたが、5月中旬以降、全体的に大きな貨物の動きは鈍っている。業績によるが、生産量は落ちている。思ったよりも厳しいと感じている。
		不動産業	このように株値が下がるとは予想もなかった。一番びっくりしたのは、証券会社ではないだろうか。
		サービス業	年度初めは大型の御依頼案件が少なく、企業としての景気様相としては、低いと感じている。
雇用	人材派遣業	派遣業界としては、一般派遣の受注が減少傾向にあります。4月の新卒社採用と全体の景気低迷並びに円高に伴う業績低迷から、主たる要因は把握が難しいが、良いとの判断は出来ない状況にあります。	
悪	家計	観光型ホテル	当施設の夏季予約状況から見ると、昨年度と比べ、予約状況が悪い。
	企業	製造業（食料品）	加工原料の値上りにより、利益が低下し、商品に転嫁出来ない。また、客の購買単価が低い（数量も）。

(4) 県南地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	洋食食堂	5月の落ち込みは散々であったが、ロケのケータリング及び、弁当などの需要が増加して来ている。また、時間内に対応出来なかったが、千葉の観光バス等からの電話も、震災後、初めて入ってきた。
やや良くなっている	家計	スーパー	3か月前の前年比を比較すると、買上点数と客単価が若干上がっているの、景気はやや良くなっていると言える。
		旅行代理店	宿泊料金のランクアップや、宴会費用が上がってきている。お土産物店での消費が多くなってきている。
		パチンコ店	稼働が少しではあるが増えている、売上も良くなって来ています。
		住宅販売会社	ゴールデンウィークの集客もまずまずで、お客様も具体的に動き出している。
	企業	農業関係者	米の消費等が、価格上昇してもやや伸びている模様である。
		製造業（家具・装備品）	経営状態が前3か月より少し良い方に向っているように感じます。
		製造業（印刷業）	来客数が増加している。
		製造業（窯業・土石製品）	震災復旧需要により、出荷が増加している。
		製造業（非鉄金属）	主力自動車メーカーからの発注量は、3か月前と同様に高水準を維持している。ただし、4月以降からのコスト引下げに加えて、燃料高騰、公出・残業などの経費増加から収益面は悪化する。
		建設業	今月は年度末工事が一段落して、いつもなら工事の発注が減少するのだが、今年は、全然減るどころか増加している。民間工事も前年と比べ増えて来ているので、景気はやや良くなってきていると言える。
		建設業	震災復旧もやや落ち着きを取り戻してきている感があるが、店舗を新たに開店したいお客様が相談に来られる回数も徐々に増え、また、個人宅のリフォームも増加している。
	サービス業（広告業）	年度末が終わり、新年度になり、新規の案件が増えた。	
	雇用	公共職業安定所	例年4月は、新規求人が減少し、新規求職申込みは増加することが多く、当月も同様であった。新規求人は連続25か月前年同月比を上回っており、その点からは景気は良くなっている。
変わらない	家計	スーパー	特に大きな動きは感じられません。
		コンビニエンスストア	天候やセールなどで客数の変動はあるが、月間を通してのお客様の動きは大きく変わらない。
		コンビニエンスストア	買上点数、単価において大きな変化は確認することが出来ない。
		農産物直売所	前年対比、前月対比、変わりなし。100%前後の売上げである。
		ガソリンスタンド	市況が極端に悪くなることはないのはプラス要素だが、天候が悪い（雨が多い）のはマイナス要素である。
		洋食食堂	お客様の会話等で景気の話は出ないので、生活の変化がこの所ないのでは。落ち着いている感じですよ。
		寿司店	来店数も、召し上りになる金額も、ほとんど変化がありません。
		都市型ホテル	低迷している状況は変わらない。宴会は昨年2月までと比較して平均で単価を下げているままで、3か月前と変わっていない。宿泊もあまり変化が無く、依然低迷したままである。
		都市型ホテル	歓送迎会シーズンを終え、宴会等の予約も伸び悩んでいる。一人あたりの単価も上がっていない。
		タクシー運転手	タクシーの売上が3か月前と変わらない。
		ゴルフ場	オンシーズン、オフシーズンの季節的要因を除外すれば、予約の動きが鈍く、直前に予約が入ってくる状態が続いている。景気は横ばいと思われる。
		レジャー施設	入場者はほぼ横ばいか微減傾向であるが、客単価もほぼ横ばいか微増である。
		建築設計事務所	設計の見積依頼は2、3件あったが、成立しなかった。予算が厳しいようです。
	企業	製造業（食料品）	4月から5月にかけては、天候が不順であり雷雨等も多かった。特に週末やゴールデンウィークが雨にたたられ、イベント等の集客も少なかったようです。衣料品関係では、夏物への移行が遅れているようです。
		製造業（食料品）	低迷している状態が変わらない。
		製造業（飲料）	変化している様な話を聞かない。
製造業（窯業・土石製品）		東北地区においては、昨年実施できなかった工事がようやく動き出した感はしますが、全国で見ると良くなっている感は受けません。	
製造業（一般機械器具）		現在、特徴的な動きはない。	
建設業（設備工事業）	4月より資材が変更になり、変更前に資材の出庫がやや多くなったが、その後、出庫も減少することなく売り上げが続いている。		

変 わ ら な い	企業	運輸業（倉庫業）	前年の生産状況と比べて今年度は生産調整が続いており、また貨物の動きが減少している。現在の状況は、3か月前と変わらない。
		金融業	お客様の売上高は横ばいで推移している。新規企業の進出はなく、不動産等の売買、設備資金需要も依然として少ない状況である。
		不動産業	3月の繁忙期も過ぎて一段落という感じだが、3か月前と比べて大きな変化は見られない。ただ、一般地主・家主・企業・個人ユーザーの選ぶ目がかなり厳しくなっており、これに対応しないと生き残れなく、逆にこれをチャンスとして、店舗の増設、スタッフの増員を行った。
雇 用	人材派遣業	派遣人数、売り上げ、受注状況を踏まえて、変わらないと判断した。	
	求人開拓員	求人企業数はやや増えているような気がするが、一社当たりの募集人数が少ない。	
や や 悪 く な っ て い る	家 計	スーパー	売上前年比100, 5%, 先月までは102~103%伸びていた。買上率も前年クリアしていたが、先月は98, 2%と落ちた。
		小売業（化粧品）	客数が伸び悩んでいるため、まだ改善していない。
		和食食堂	以前と比べると、近隣の飲食店も少し元気がないように感じます。
		タクシー運転手	売上が下がっている。
		タクシー運転手	一日当りの売り上げが、平均1割減少している。
		タクシー運転手	企業関係で全くタクシーの利用がなく、一般客も、最近の利用の頻度が日増しに激減している。
		タクシー会社	3か月対比で、営業収入が約12%減、営業回数5, 5%減となっており、大震災後の長引く余震と放射能等による影響が、不況に一層拍車をかけている。更に、賃金ベースアップも最低線であることを考えると、景気はやや悪くなっていると言わざるを得ない。
ゴルフ場	メンバー、ビジターに関わりなく、ゴルフ場への来場回数が減ったとの声が多い（月内に複数回来場した方）。		
悪	-	-	-

(5) 県西地域 【現状】

(一：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	家計	理・美容店	前年5月までの売上と比べると、100万円のアップとなっている。当サロンでは客のニーズに応えるべく、技術、特にカラーリング、パーマ、エステ（女性のみ）に力を入れてきた、その結果と思われる。女性客の集客に今後も務めたい。客の話を聞いていると、景気はそんなに悪くはないと思われる。	
	企業	製造業（窯業・土石製品）	例年の季節変動だが、受注額が増えている。	
やや良くなっている	家計	ラーメン店	3か月前は年度末などで、総会などと合せ、宴会場のある店舗などは活況だったようですが、当店は店舗営業だけです。不況と感じておりました。したがって、「良くなっている」と判断しましたが、良くなっているとは思っていない訳ではありません。	
		ビジネスホテル	（一部の製造業ではあるが）3か月前から企業の設備投資が続いており、人の動きが多く、景況感が良くなっている印象がある。	
		ドライブイン	微増ではあるが、客数が伸びている。	
		クリーニング店	天候不順が続いていますが、少しずつ衣替えが出て来ています。	
	企業	製造業（化学工業）	中国・台湾・韓国・アジア地区でスマートフォン・タブレットPC部材を多く扱う顧客からの材料発注が増えている。	
		製造業（印刷・関連業）	設備投資をしている会社があります。	
	雇用	公共職業安定所	管内の有効求人倍率は0.79倍（4月末現在）となった。23年4月の有効求人倍率が0.52倍であったことをみても、現在の景気は良くなっている。	
		学校就職関係者	3か月前は年度末で設備関係（電気工事）や土木・建築関係が忙しかったが、今は落ちてきている。しかし、これは季節的要因によるものと判断する。製造業でみると、ちらほら求人の話が出ており、新年度を迎えた（季節的要因）事による以上に、景気が回復してきたのではないかと感ずる。	
	変わらない	家計	スーパー	営業数値から判断すれば、ほぼ横這い状況である。
			農産物直売所	必要最低限の買い物しかしていない状況、嗜好品の商品の動きが悪いと思います。特に、果実（スイカ、メロン）等について、箱売りが減少しているため、1個玉での販売中心となっている。
和食食堂			最近数か月は、売上げ、来客数ともあまり変化が無い。	
和食食堂			3月、4月、5月は前年と比べて売上げが低調だったが、今月も変わらないような気がする。	
旅行代理店			5月は仕事が少しあったが、3月、4月に比べて6月は変わらない。	
ゴルフ場			予約状況から、景気は変わらないと判断した。	
ゲームセンター			売上げがほぼ横這いで変化がない。	
レジャー施設			お客様の予約状況や予算から推測すると、決して好転しているとは思えない。	
住宅販売会社		お客様の様子からは景気の浮揚は感じられない。		
企業		農業関係者	天候不順により農作物の収穫減で、単価はよいが収量が少ない。	
		製造業（食料品）	製造量自体は対昨年、前四半期よりも増えているが、景気が良くなっているという感じはないと思われます。	
		製造業（食料品）	売上が、多少の上下動はあるものの、はっきりとした傾向もなく同じ様な額で推移している。取引先などでも、良くもなく悪くもなく言ったところが多い様だ。	
		製造業（金属製品）	3か月前から、売上げ額、引き合い数量が低調である。	
		製造業（電気機械器具）	作業量の変化による人材増減の相談があまりない。	
		建設業	地域で相変わらず停滞している。元気のある会社が少ない。	
	金融業	引き続き、震災特需で一部業種（建設関連）では、安定した受注が見られる。建設関連以外の業種においては変化は見られない。		
サービス業（広告業）	定期的な案件以外はあまりない。			
雇用	就職相談員	新規の求人数、求職者及び、就職決定者の人数に変化がない。		
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	7月に選挙があるせいか、買物客の足が遠い。天候が変りやすく、気持ちも安定しないようだ。	
		商店街代表者	客足が伸びない。財布の紐が固い。	
		コンビニエンスストア	5月は自動車税などの支払いが多く、お客様の支出も多かったように感じました。その反動からか、6月に入り、来店客数の減少、買上単価の下落などが感じられます。また、公共工事等も減少しているためか、工事関係者の来店（朝・夕中心に）も減少しているように感じます。結果、景気はやや悪くなっているように思います。	
		コンビニエンスストア	客数が継続して減ってきている。買上点数、客単価の増加で売上を何とか維持していかないと、かなり厳しい状況となっている。	

やや悪くなっている	家計	自動車販売店	3か月前と対前年同時期を比較しても、販売実績は落ちています。節電、消費税問題と、お金の影響する話題が多く、お客様の動きが鈍くなり、景気はやや悪くなっているように感じます。
		ガソリンスタンド	価格を安くしても販売増に結びつかない。
		和食レストラン	ファミリー客が少なくなっている。天候不順が影響している。
		タクシー運転手	3月頃は、これから景気が良くなるのかなと予感をさせるものがあったが、乗客の単価が全然良くならず、まだまだ景気が良くなるのは数年先かなと思う。
		タクシー運転手	新年度を迎え、各企業共一段落状態なのか、特に夜の飲食店（飲み屋）関係の動きが悪い。
		ドライブイン	客単価はやや落ちており、来店客数も横ばいである。
		理・美容店	お客様から「夜勤がなくなったり、残業もなくなったり」という話をよく聞く。
		建築設計事務所	地震の復興特需が一服したのか、会社関係の設備投資が落ち着いた。
	企業	農業関係者	活気が無くなってきている。（購買意欲が薄い）
		製造業（印刷・同関連業）	ギリシャ、スペインはじめユーロ圏の金融不安が円高・ユーロ安を招き、併せて欧州通貨危機が経済不安、そして株安までも起こした。国内的には消費増税問題があり、零細企業にとっては不安材料ばかりで、景気が好転する材料は何もない。
		製造業（印刷・同関連業）	売り上げの減少が止まらない。
		製造業（窯業・土石製品）	予想したよりも悪い。当社では、毎日定期的に、仕事が忙しくても暇でも、お得意先へ「仕事（注文）のお願い」をしているのですが、発注元（お得意先）に「仕事を持ってない」「暇です」と言われることが、ゴールデンウィーク以降、特に多いです。
		製造業（一般機械器具）	5月、6月売上が少ない。同業社などの話でも仕事が少ない話で、当社でも5月の売上が悪かった。
電気工事業		仕事量が減り、価格が安くなっている。	
雇用	人材派遣業	一部の会社だけ良いが、他の会社は悪い。	
悪くなっている	家計	時計販売店	メガネ等の平均単価が下がってきている。
		家電販売店	昨年は、7月24日アナログ停波に伴い、特需としてテレビが前々年比の5倍売れており、今年はその反動により、非常に売上が悪い。また、昨年は震災の影響により、エコ対策として扇風機が全て完売するほど売れていた。
		専門スーパー	客数及び、点数の減少、また、商品単価や客単価の減少がみられる。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	商店街代表者	現在のような状況がしばらく続きそうである。
		小売業（時計）	外国の（ギリシャ等）欧州債務危機問題はあるが、震災で市中に落ちているお金が廻り出していると思う。
		スナック	タクシーや運転代行業等も、以前と比べて忙しそうだ。
		和食食堂	宴会の頻度が少し増えてきています。
	企業	林業関係者	先行きはちょっと不安ではあるが、現在より量的には出て来ると思われるので、良くなると思う。（仕事量も増えると考える）
		水産業関係者	小型船にあっては、出漁できる可能性が出てきたので、他漁業種類と併せて良い方に向かっていると思う。又、加工業者も生産が出来るため、町全体として景気は「やや良くなっている」と思う。ただし、放射線の影響が無ければの話である。
		製造業（一般機械器具）	受注量が予算値より増加傾向となっている。
		建設業	新規物件が増えてきているので、お客様の投資意欲が上向いてきていると思う。
変わらない	家計	コンビニエンスストア	地域内の企業や、賞与の増加というプラス要素がない事から、横ばいであると思われる。
		衣料品販売店	少しづつは戻りつつあるが、生活必需品の方に金が回り、衣料品関係は変わらないだろう。
		小売業（工具）	円高、原油価格の高止まり、電力料金の値上げなど、不安定要素が続く。
		小売業（燃料）	節約志向は変わらないと思う。
		小売業（酒類）	地元大手企業、関連会社等、震災以降イベント・行事の自粛傾向が強まり、それほど期待できない思いです。
		レストラン	全体の流れから、変化がないと判断した。
		民宿	3か月程度では、風評被害などは取まらないと思う。また、東電からの補償金などが打ち切られた場合は、その業種の継続は難しく、それに伴い不景気になると思われる。
		観光型ホテル	観光客は異常なほど減少している。誰もが心配していた、昨年原発問題の余波の影響のためと思われる。今までのように戻るには数年掛るかと思われる。
		観光型ホテル	日帰り、宿泊予約共に、前年とほぼ同様の状況であり、今月の落込みと比較しても、ほぼ変わらないと思う。
		旅行代理店	単価アップがままならない。
		タクシー運転手	これから夏シーズンに入り、どこもかしこもエコ、エコで、夏の電力供給不足が不安感を募らせ、財布の紐を更に固くする。
		タクシー運転手	6月の夏のボーナスで、多少は良くなると思うのですが、8月のお盆で売上げが落ちる事が予想されるため、プラスマイナスゼロで、変わらないと思います。
		ドライブイン	遠出を控えている傾向があるかもしれない。まだ風評が払拭できていない。（しいたげが出荷停止しているなど。）
		ボウリング場	お客様の話では、仕事は増えているとの声が多い。
		ゴルフ場	7～9月の予約状況は、前年比60%を確保し、ペースに変わりない。心配材料は、節電対策で企業出勤日の平準化で、土・日來場者減が予測される。
		レジャー施設	やや上向きにはなっていると感じますが、今後3か月先の予想を判断する材料が周囲に見られない。
	ゴルフ場	お客様のゴルフ場予約は、直近が多くなってきた。天候を見ていることもあるが、コンペなど人を集めづらくなっているように思われる。まだまだ、ゴルフの回数を増やしたり、単価の高いコースへ行くなどの余裕があるような動きはない。	
	理・美容店	ボーナスや年金等は、使う先が決まっていると思うので、多くの期待は持てない。	
	住宅販売会社	上昇局面を迎えるにはまだ時間が掛かりそう。	
	企業	製造業（電気機械器具）	売上増加にはつながらない。
製造業（輸送用機械器具）		欧州経済のユーロ安、並びに中国経済の伸び率鈍化、加えて海外輸出減少により、徐々に悪化傾向と想定する。	
情報通信業（情報サービス業）		期待は持つが、電力使用量が多くなって来る時期になり、電気料金の値上げにより投資を控える状況が続くものと思われる。	
金融業		地元企業発注による下請企業が大多数を占める地域であり、特に原子力関連業者も多く、今後の動向は不透明である。不動産関連の動きを見ても、企業進出の動きが鈍く、家賃相場下落が続いており、当面景気は変わらないと思われる。	
サービス業（広告業）		先行きの不透明な景況に、慎重な対応をしている。（経費削減、エコ推進の動きの為か）	

変わらない	雇用	公共職業安定所	最近の雇用調整助成金の支給状況を見ると、だいぶ落ちついてきているが、求人関係の手続きで来所される事業所の採用担当者の方々に今後の状況をたずねると、5月、6月頃までの受注等は入ってきているが、その後は不確実、動向が不明とお話を聞くことが多いので、しばらく状態は変わらない様子。
		学校就業関係者	公共職業安定所との連絡会議の中で、景気は緩やかに改善傾向であるとの話を聞いた。公共職業安定所から紹介される職業訓練受講者の応募者数は今後、増えも減りもしないと予想される。
		求人开拓員	派遣で一時的にしのご計画なので、先が見えないようだ。
やや悪くなっている	家計	スーパー	前年と比較して、トレンドで客数が落ちている。
		スーパー	問屋さんの見積りがどんどん安くなっている。ラーメン、ジュース、その他日付がせまっている品物で、デフレの傾向がみられる。
		スーパー	衣料、外食を含み、売り上げの傾向は弱い。食品品もやっとな野菜の価格が落ち着いたが、消費は伸びていない。
		コンビニエンスストア	世界的な金融情勢の不安定さや、ボーナスの支給額等は影響してくると考えられます。
		金物・荒物・建築資材	発注、受注の減少が見込まれる。
		自動車販売店	補助金の枠もいっぱいになり、終了すると思われるため、販売の伸びは見込めない。
		小売業（水産物）	風評被害が落ち着かなければ、魚関連には厳しい夏になる。今年の海水浴の来客数が見通しが立たなければ、昨年同様に観光客の見込みは厳しいと思う。
		居酒屋	宴会がない。
		タクシー運転手	夜間の仕事が減少している。
	クリーニング店	業界そのものも悪し、景気が良くなる材料が何もない。	
	企業	製造業（製缶）	同業社や異業種他社ともよい情報がない。
		製造業（電気機械器具）	作業量が少し落ち込む。
		製造業（電気機械器具）	受注量の減少。電気料金値上げによるコスト高（経費の増加）。
		製造業（電気機械器具）	今後3か月先の作業が見込めるような受注案件が殆どない。
		製造業（輸送用機械器具）	内示で減少傾向のものが複数ある。
製造業（電気機械器具）		下期に向け国内案件が伸びず、やや下降気味である。	
運輸業		新聞やテレビで海外の経済状況が良くないと報道されている。また、実際に製品を輸出している企業の荷動きも悪くなっている。	
不動産業		国内製造分野の企業業績の不振によるリストラ、円高の固定化、消費税論議などの影響が懸念され、購買意欲を殺ぐ話題が多い。	
悪くなっている	企業	商店街代表者	5年ほど前から続く世界的な不況、及び社会保障など、国の財政悪化への不安材料の影響が懸念される。
		タクシー運転手	景気落込みに先がけ、経費削減が目標になっている。
		ゴルフ場	3か月先までのゴルフプレーと宿泊関連の予約者数が減少傾向にあります。（5月現在で、3か月先の予約者数を、昨年、一昨年と比較した場合）
	雇用	製造業（電気機械器具）	数か月で改善するとは思えない。

(2) 県央地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良くなっている	家計	レストラン	このまま回復すると思うが、夏場だけが読めない。
		ドライブイン	借樂園の梅の時期ではありませんが、夏休み、萩祭りなどの行事もありますので、来園、来店されるのではと期待したい。季節天候に左右される店舗です。
		カラオケ店	良くなるよう努力している。
		理・美容店	季節的な事で毎年同じですが、暑くなるので、来客数が伸びると予想される。
	企業	製造業(金属製品)	見積り件数が増えているので、今後に期待ができる。
		製造業(精密機械器具)	わが社の受注生産品の引合いと受注が、ここ数年と比較して増加傾向にあり、この流れはしばらくの間は続くものと思われま。
		サービス業(広告業)	夏から秋にかけて、昨年中止になった行事や、商業イベントなどが行われる時期なので、物販や外食などの販促は活発化すると思われる。実際、夏から秋に向けた集客イベントの立案がもう行われている状況。
		サービス業(コンサルト業)	今月同様、大震災後の経済活動の低迷や心理的な自粛から脱しつつあり、その分改善していく。引き続き新しいことにチャレンジする動きがあり、設備投資などが見込まれる。
変わらない	家計	商店街代表者	水戸市中心街が良くなっていくとは思えない。当店の業界も大変厳しい。同業者の組合総会が5月末に開催され、組合は本来、技術の向上、職業と商品の啓蒙活動を目的としているが、組合員の中には、販売の不振や店が暇で仕事がなく「採算を度外視して価格を下げてでも顧客を獲得している」との話が多く、価格競争が激化している。
		百貨店、総合スーパー	現在の傾向が継続すると思われる。
		百貨店、総合スーパー	よく考えてから購入される方が多いので、状況の変化はあまりないのではと考えている。
		スーパー	今の厳しい状況と変わらないと思う。電気代値上等により、企業のコストアップが必須となるだろう。個人の所得が減って、厳しい状況が続くのではないかと。
		スーパー	この間一定の伸びがあり、動向からすると、この間の伸長を今後維持していくのがやっとなと思う。
		スーパー	消費税増税の話がよく出る。上がったら、お店も大変だねと言われる。また、消費者心理も穏やかではないと思う。
		スーパー	3か月という短いスパンでは大きな変化は考えられない。
		コンビニエンスストア	主たる客層の収入の変化がないと思われる。
		家電販売店	節電の関係で省エネ商品が動き出したが、売上金額では、さほど上がらない物が多い。
		農産物直売所	昨年同様に、大手製造業が電力の面から土・日稼働になれば、夏休みの家族連れの来場が見込めず悪くなる事も考えられる。
		専門スーパー	盛夏商品も特需の昨年並には売れるとは思えず、今の状況から好転する材料が見つからない。
		レストラン	現在の状況と変わらず、逆に電気料金値上げ等により、家庭、企業の動きが変わってくるのが心配。
		都市型ホテル	現在の予約状況を見る限りでは、特に良くなる予想は出来ないが、下がることはないと思う。
		観光型ホテル	前期は世界的な経済状況の悪化懸念と、日本の政局の動きから大きな回復は期待できない。
		旅行代理店	先行受注が伸び悩んでいる。
		旅行会社	バスの予約は、3か月先はまだまだ空いている日が多い。
	観光名所	若干弱含みだが、例年並の予約状況で推移している。	
	レジャー施設	昨年度ほどの忙しさではないが、しばらくは仕事が忙しいと聞く。(不動産業以外の利用者から聴取)	
	レジャー施設	団体等の動きも回復傾向にはあるが、まだまだ例年並みには至ってなく、相変わらず放射線量の問い合わせは無くならないため、これ以上の回復は見込めない。	
	住宅販売会社	今年度前半はこの状況が続くそう。	
企業	農業関係者	秋の収穫時期を迎え、今後の気象条件等にも左右されるが、農産物価格も横ばい状態で推移すると予想する。	
	製造業(印刷・同関連業)	大型の案件がなく横ばい状態が続く見込み。	
	製造業(一般機械器具)	変わらないでほしいと思うだけで、どうなっていくのかはわかりません。自動車、建設機械はまだ続くとします。	
	建設業	積極的な購買力は無いが、個々の必要とする積極的な消費動向が見られる。	
	運輸業(道路貨物運送業)	エコカー購入の支援(補助金、減税)などはあるが、他方、製造業が「内製化」して、外部委託を減らす傾向がある。	

変 わ ら な い	企業	情報通信業（情報サービス業）	最近の顧客の様子では、エネルギーの高騰が、景気の先行きに大きな影響を与えるとの警戒感が強く感じられる。従って、リスク含みの規模ある投資は、殆ど先送りとする現状容認の考えが強く、これが払拭されない限り、景気は当分の間、横這い推移と思われる。
		金融業	各企業とも売上横ばい、又先行き不透明から慎重な姿勢をみせており、急激な動きはないと思慮する。
		サービス業（広告業）	先行き不透明感はず変わらず、基本的には経費削減は続いている。
	雇用	公共職業安定所	9月は例年有効求人数の増加、有効求職者数の減少がみられ、求人倍率は改善すると思われるが、製造業等では円高や国内外の需要の落ち込み傾向に加え、電気料金値上げの要因もあり、先行き不透明感が強いことから、実体としては現状と比べ雇用情勢が改善する見込みは少ないものと思われる。
		求人開拓員	値上りしていたガソリン等も値下がりし、価格が安定しています。電気代などの経費がかさむ傾向がある。
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	電力不足のうえに電気料金の値上げもあり、消費は低迷するのではと予想します。
		コンビニエンスストア	昨年との比較になってしまうが、震災による特需が建築、土木関係を中心にあつたが、ある程度落ち付いてしまったので、少しずつ景気は低迷すると思います。
		自動車販売店	お客様は、維持費を考え軽自動車、コンパクトカーにする方が増え、売上単価が下がると考えます。
		スーパー	まだまだ株安・円高、消費税増税などが決着しないと思います。
		レストラン	夏場の時期は観光客の影響も出るので、若干鈍ると予想します。
		都市型ホテル	福島原発4号機をはじめとして、再び懸念がメディアにとりあげられ、風評が広がる事が予想されるなど、景気はやや悪くなると思う。
		タクシー運転手	今までは、労働時間内に夜9時から市内のタクシーのりばから3～4回の営業ができました。今は全くという程出来ないです。それは一回の営業に2時間程かかるのです。そうなれば、労働時間オーバーになり、然る所からお叱りを受ける事になります。飲食店が暇なのです。昼間は昼間で年金の支給の目減りの話、又、夏のボーナスカットの話などで、とても景気が良くなると思われません。
		タクシー運転手	お客様のお話等から、「企業の接待等が減少しており、利用頻度が少なくなる」との事である。
		ゴルフ場	収入の圧迫はもちろん、電気料金の値上げなど固定経費は増加を示す要因ばかりで、収支バランスが正常化しない。
	企業	製造業（食料品）	電気料金値上げの問題が大きく影響すると思われる。
		製造業（印刷・同関連業）	良くなる要素が見当たらない。
製造業（窯業・土石製品）		今後の受注額・受注件数が少ない。	
雇用	人材派遣業	引き続き人材不足は続くと思われる。	
悪	家計	建築設計事務所	災害復旧があつて息を吹き返した感があつたが、これらも終局を迎え、益々景気は冷え込むと考えられる。
	企業	製造業（食料品）	原発事故の完全修復が出来ない限り、景気回復は望めない。

(3) 鹿行地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	農産物直売所	節電等により外出が増え、来客数が増加している。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	昨年は風評被害があり、海の内来客を中心に大きなマイナスが生じています。今年は、昨年ほどの状況は考えにくく、天候気温が昨年並みであれば、今より悪くなるという事は全く考えられません。
		小売業（酒類）	震災後、地域のイベントが復活して、その様な商材（ビール、ジュース、つまみ類）等が必要として望めると判断した。
		小売業（金物店）	震災の影響で2年～3年は道路関係の仕事があるので、少しは良くなると思う。
		日本料理店	これ以上地震がなければ、増える方向に行っていると思います。
		理・美容店	全体的に消費が増加していると感じる。
	企業	農業関係者	気象庁長期予測によれば、平年並みの気温が続くとこの情報から、作物全般の成育が順調であると思込んでいる。
建設業	震災復興景気はまだ続く感じがしますので、受注が増えれば、景気が良くなるのではと思います。		
変わらない	家計	商店街代表者	現在、わずかであるが、景気が回復傾向にあるのに、3か月後は一般家庭の電気料金10%の値上げの報道で、回復が遅れ、又は後退するのではと心配です。
		商店街代表者	期待できる好材料に乏しく、商店街来客数の増加は見込めなさそうである。
		スーパー	ギフト品などで、地場商品の出足が好調です。アルコール商品も昨年は品薄になったが、その心配は今は無く、安心して販売できている。
		スーパー	特に景気が良くなる情報がない。特に工場地帯での新しい工場の建設や、集客できるイベント等がない。
		コンビニエンスストア	来店客数の伸びは厳しい状況である一方、買物の買上点数は増加傾向であり、そこから品揃えに対するお客様の期待度が見て取れる。しかし、お客様の使い分けや同業他社との競争も今後さらに予測されるため、変化対応を続けて辛うじて現状維持を保てる状況と思う。
		家電販売店	省エネ関連の売上が寄与しているが、夏の天候次第で状況が変わりそうです。
		自動車販売店	このままでは、3か月先は現在の状況と同じだと思う。国の政策が大変重要な時期に来ていると感じる。
		小売業（菓子販売店）	今のところ特に変化する要因はないと思う。
		小売業（書店）	ここ1年は大きな変化が見られない。
		衣料品販売店	以前よりも、価格を気にして購入するお客様が増えている様に思う。
		洋食食堂	ランチタイムに集中し、夜のお客様の来店は少ない状態が続いている。
		割烹料理店	相変わらずフリーのお客様が少ないので、景気は上向かないのでは。
		タクシー運転手	当地域周辺で、好、不況の変化の材料が見当たらない。昨年の震災の影響を感じる。
		タクシー運転手	4～5年前からだが、経費削減等で無駄な出張と言うか企業へ出向いて来るのが減少している。又、テレビ会議等を取り入れているとの事で、今後も変わらないだろう。
		タクシー運転手	今後も状況は変わらないと思う。
		タクシー運転手	各会社の接待や飲み会等が、現状より増えて来るとは思えない。
		ゴルフ練習場	ゴルフ場での熱心な営業活動（インターネットやダイレクトメール活用）やリピーターが利用しやすい利用ポイントを付加するサービスなどのリーズナブルなプレー料金が継続されている限り、景気は変わらないと思います。
		室内装飾業	これと言った物件の引き合いも無いし、家を建てようとする依頼人はこぞってハウスメーカーに依頼している。
		住宅販売会社	しばらく状況に変化はなさそう。
		住宅販売会社	住宅については、住宅ローン控除の廃止や消費税アップの駆け込み需要が先々には想定されるが、3か月先での大きな動きにはならない。
		団体	先行きが不透明、同じような状況だと思う。
		企業	企業
製造業（食品）	季節要因（節電の夏）を除けば、人の動きは変わらないだろう。		
製造業（化学工業）	国内需要が思ったほど戻らないうえ、欧州危機再燃による影響も懸念される。原燃料価格の動向次第では、今後値下げ要求も出かねない状況か。		
製造業（鉄鋼業）	急激に好転する材料が見当たらない。		
建設業	住宅建築など、着工棟数が減っている。		

変わらない	企業	金融業	今後も急激な変化は無いと思います。
		不動産業	政治家も色々との国の消費税のタイプを勉強しているようですが、同じアップをするものであるならば、念には念を入れて早目に決めてほしい。
	雇用	人材派遣業	今の政治状況を見ていると決して景気好転するとは考えられません。特に中小各企業ともに何とか黒字経営の体質に向けて必死で頑張っているのが現状ではないでしょうか。
		民間職業紹介業	当地域のキャパでは、企業の要求するスキルに見合う求職者がなかなか集まらず難しい。
		公共職業安定所	特にプラスとなる要因が見当たらず、現状のまま推移すると思われる。
学校就職関係者		求人動向がいまいち改善しない。	
		就職支援センター	求職者の資質の選択が比較的緩い単純労働、軽労働の量的供給が不足していると考えられる。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	秋になり、季節物も終わり、冬まで何もない見通しだ。
		小売業（薬品店）	景気が良くなる要素がない。
		ドライブイン	昨年同様に原子力災害の影響で海水浴客の減少が予想される。夏の観光も期待できない。
		ゴルフ場	これからの3か月は、残暑の厳しい時期なので、お客様の動きも鈍くなるかと思われる。特に、高齢者の方が多く来ているので、客単価や利益率は下降傾向になると思う。
		理・美容店	電気料金値上げや、いろいろな物価高騰などが影響しそう。
		クリーニング店	椎茸、煙草農家が、セシウム問題で作れない。そのためにじゃが芋やさつまいも、葉物に転作した。じゃが芋などは量は多いが値段は安い。全体的にデフレ状態です。
悪	企業	製造業（食料品）	大口の取引が減り、小口業者の対応が増え、業務が増え、利幅が減る。
		製造業（食料品）	原材料の産地問い合わせが多く、又、放射線の問い合わせも多い。風評被害が続くだろう。
		製造業（化学工業）	鹿島コンビナートの定期修理期間に入り、売上げも減少する見込みである。
		運輸業（道路貨物運送業）	現状の低迷した動きが続くと考えられる。節電対策による作りだめという話しは聞こえない。政治も困迷し、円高、株安、雇用の不安定などの要因から、国内では“静かな物流”、海外では“見えない物流”となっていく。
		保険業	6/1東京株式市場で平均株価が8500円割れ、円高ドル安ユーロ安で資産が減り、買い控えが心配である。工事関係は、今年中は仕事があるが、先行きが少し心配な所がある。
悪	企業	サービス業	海外の景気動向が非常に悪くなっており、国内も大きくその影響を受けると考えている。

(4) 県南地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	専門スーパー	マンションや新築物件も他の地域より多いため、工事や施工に携わる方が地域で購買をしていく事が続くと考ええる。
		都市型ホテル	宴会予約の件数が多少増えてきた。また、単価も少しずつ上がって来ている。
		旅行代理店	夏に向けて、家族旅行が見込める。
		パチンコ店	守谷地区は新しいビル、建物が増加して人も多くなり、これからまだ良くなると思います。
	企業	製造業(非鉄金属)	主力自動車メーカーからの3か月インフォメーション上では、引き続き高水準の受注を予定しており、操業度も120%程度になり、公出・残業によりカバーする予定でいる。ただし、今後の電気料金値上げに伴うコスト増のほか、燃料高騰・諸経費増加から収益確保に不安もある。
	雇用	公共職業安定所	電力供給、欧州債務危機問題など、懸念材料はあるものの、住宅関連、自動車関連、建設関連の管内企業からは、多忙との声がある。
求人開拓員		東日本大震災により、東北の復興がなされ、東北(仙台)では景気が良いと聞く。県内でも瓦の修理等は一段落したように思えるが、道路の補修等、本格的に始まる話を最近聞く。作業員(常時募集)を探して欲しいとの求人が以前より多くなっている。(作業員の取り合いである)	
変わらな	家計	スーパー	今後の天候によって左右される事はあると考えられるが、客単価の伸びや売上高の傾向からして変わらないと言える。
		スーパー	通常的气候なら、景気を良くする動機が無いようなので、変わらないと思います。
		コンビニエンスストア	大きなプラス要因、マイナス要因がありません。天候で客数の動きが変化する可能性はありますが、景気が左右される予測はつきません。
		コンビニエンスストア	お客様の購入状況に大きな変化がなく、変わらないと考える。
		小売業(化粧品)	高齢者の消費が今より増加するかが問題である。節電対策、及び、防災関連グッズの売れ行きに期待している。
		農産物直売所	良くなる事を期待したいが、現状維持を保ちたい。リピーター、地元のお客様を大事にしながら新規のお客様を獲得し、売上げを伸ばしたい。
		ガソリンスタンド	燃料油での低マージン経営が続くと判断した。
		和食食堂	以前と比べて、組単価が変わらない。
		洋食食堂	相変わらず人の流れが悪く、ランチタイムの客足が伸び悩んでいる。
		洋食食堂	景気は現在の状況が続くのでは。この状態が普通と思えば、何も変化なしです。
		都市型ホテル	今後3か月先を含めても先々平均を下げ、低迷したままで特に大プレせず変わらないと思います。接待的な部分もあるレストラン個室営業は、厳しい状況が見込まれる。その分個人需要で伸ばす施策等で盛り返しを図っている。
		タクシー運転手	タクシーチケットの利用が伸びない。
		タクシー運転手	何も変わる要素がない。
		タクシー運転手	景気回復の明るい材料がない。会社関係の接待、会合は減少している。
	代行運転手	他の同業者の話聞いても、やはり、お酒を飲んで代行を使う方は少ない様な気がするとの事でした。	
	企業	ゴルフ場	現在のオンシーズンで予約が直前に入るという事は、混み合って予約がとれないと思われていないと推測される。電気料金の値上げ、消費税の引上げが報道される毎日で、直接生活に負担がかかる現状で、娯楽業に属するゴルフには大変厳しい事が予想される。
		レジャー施設	入場者が横ばいから微減の傾向が続くと、客単価が微増してもほぼ変わらない状況である。
		理・美容店	未だに景気の先行き不安な現状で、東電の電気料金の値上げにより中小企業の経済状況は厳しい。
		建築設計事務所	耐震診断の話はあるものの、不確定である。
		住宅販売会社	良くなってきているが、3か月先の状況は今と変化はあまりなさそう。
		製造業(家具・装備品)	色々努力はしておりますが、良い方へ変わって行けたらと思っております。
		製造業(食料品)	給料は上がらない、ボーナスも出ればよい方で金額も相当下がっているようです。それなのに、ガソリン等石油関連商品は上がったままで、さらに電気料の値上げ等も迫っています。景気が良くなるような情報はあまり入ってきません。
		製造業(飲料)	変化している様な話を聞かない。
		製造業(一般機械器具)	現在、特に景気よくなる材料が見当たらないため。
		建設業	震災関連の工事が一段落してくると思う。しかし、民間工事の需要が少しずつ出て来ているので、現状程度の工事受注は期待できる。又、放射能が高い我が町では、除染関連の追加工事(公園、通学路、個人宅など)が、その頃には出てくると思う。

変 わ ら な い	企業	建設業	現状上向きなので、その状態は変わらないと思われる。約3か月先までの見通しはたっており、その先の方は、今後仕事がストックできると思われる。
		建設業（設備工事業）	市・水道局より仕事が発注される見込みである。
		金融業	今後も、円高や原油価格の高止まりによる影響で、先行きは依然として厳しい状況となっている。
		サービス業（広告業）	基本的には、経費削減の波はまだあり。慎重な対応が多い。
	雇用	人材派遣業	急な変動要因が無い。
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	客数を前年クリアする事が難しいと思われる。買上率も前年クリアが難しい状況である。
		家電販売店	今年夏に開催されるオリンピックに対する動きによっては、期待も持てると思う。
		寿司店	特に気になるのは、市場に仕入れに行ってもいつも駐車場がガラガラで、仲買人が仕入れにこない事です。
		タクシー運転手	消費税の値上げなど、いろいろ不安な事があるので、悪くなると思う。
		タクシー会社	年金改悪、消費税増税の政府の方針や、燃料の高騰、首都直下型大地震等の放送等、景気回復等の明るい条件は何もない現状を踏まえると、消費に対する身の引き締めが一層厳しくなる事となり、悪化の一途をたどるとしか言えない。
		ゴルフ場	全般に、ゴルフ場にプレーに来場する機会が少なくなったとの声が多い。レジャー、接待に振り向ける資金が減っているためなのだろうか。
	企業	製造業（食料品）	消費税の論議や、ヨーロッパの金融情勢を考えると、購買意欲が落ち込むと考えられる。
		製造業（印刷業）	特に来客数の増加は見込めない。
		製造業（窯業・土石製品）	消費税問題、原発再稼働、電力不足、値上げの政府の対応をみていると、これからの日本の方針が定まらず、場当たりの対処が不安であり、EU問題、円高問題等、不安がいっぱいです。
		製造業（窯業・土石製品）	震災復旧需要も一段落し、自治体の収入も厳しく、通常の公共事業がどれだけ出のか不透明である。
		運輸業（倉庫業）	このまま各荷主の生産調整が続くと、売り上げも減り、貨物の動きが鈍くなるため、やや悪くなる傾向が想定される。
		不動産業	昨年及び、3か月前と比べて、商売の環境のパイが縮小しており、全般的には厳しいと見通ししている。顧客ニーズに応えた中の広い総合住生活産業への脱皮を行っている途上であり、これからが本当の勝負所であると考えている。仕事以前の社員の人間力の開発に重点を置いている。
	雇用	学校就職関係者	当面の必要が満たされれば買い換え需要もなくなり、消費は落ち込むと思う。
悪	-	-	-

(5) 県西地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良くなっている	家計	家電販売店	(昨年の)7月24日以降、テレビの特需もなくなり、安定した状況となる。現在、エコブームとなっており、お客様のエコ商品に対する関心が強く、ある程度価格が高くても購入するお客様が増えてきた。
		和食食堂	客単価や利益率は低調に推移すると思うが、客足は伸びてきているので、やや良くなっていると思う。
		ビジネスホテル	今の人の動きが継続していけば、景気はやや良くなると思われる。7～8月は通年の稼働とスポーツ大会やら合宿などの動きもあり、プラス判断をしている。
		理・美容店	少しずつ良くなっていると思う。若い共稼ぎのご夫婦の景気の悪化はそんなに感じられない。
	企業	製造業(化学工業)	スマートフォン・タブレットPC部材を中心に半導体・ディスプレイ材料が顧客・地域によってまだら模様ながら、全体としては若干上向きという顧客がやや多い。
		製造業(窯業・土石製品)	秋頃までは今の状況が続くのが例年である。
		製造業(窯業・土石製品)	現在が「谷」なので、良くなってほしいし、良くなると思います。中国の加工業者の熟練工が、より良い待遇を求めて当業界を離れていくという話を多く耳にしますので、私達に流れが変わってくると思います。
		製造業(金属製品)	コスト的な面で上昇難ではあるが、受注件数は増加しそうである。
	雇用	人材派遣業	6月から、他の会社の求人が良くなっている。
	変わらない	家計	農産物直売所
ガソリンスタンド			特に物品販売の中小企業は、大手の大量仕入による定価販売により、苦戦を強いられている。
タクシー運転手			タクシーは、夜間に重点的に稼働しないと仕事にならない業種だが、今現在、夜間は閑古鳥が鳴いている状態で、飲み屋さん自体にもお客さんが非常に少ない。横ばいのままだと思う。
ドライブイン			良くなる理由が特にない。
ドライブイン			夏のボーナスも前年割れとの報道もあり、景気が上向き材料が見受けられない。市場においても円高、株安が進行しつつあり、長引けば景気悪化に直結しかねない。
企業		農業関係者	農業所得が増えていない。(購買力の低下)
		製造業(食料品)	欧州の通貨危機が回避できれば、心情的に良くなる可能性はあると思います。
		製造業(一般機械器具)	元仕事をもらった会社が最近閉鎖した話を聞きびっくりしている。お菓子の会社が最近売れるラインを伸ばすため仕事が入っているが、あまり良くないと思う。
		製造業(電気機械器具)	顧客からも長期的な受注情報が乏しく、先が読めない状況にあり、当面は現行通りと考える。
		電気工事業	所得に関して、小規模事業者と大企業や官庁関係との格差が広がり過ぎて、地域を支えて仕事をしている零細企業が利益を確保できず、会社を存続しづらくなっている。
	金融業	景気好転材料が見当たらない状況で、変化無いと思われる。	
	製造業(印刷・同関連業)	なかなか右肩上りにはなりません。	
	サービス業(コンサルト業)	道路等の土木工事は行われていますが、その工事のみでは地域の景気が好転するとは考えにくい。	
サービス業(広告業)	経費削減の動きは同じで、慎重になっている。		
雇用	公共職業安定所	一部の企業では、人員整理なども考えている。求人数の増加・減少が入り乱れるため、今後は変わらないものと思われる。	
	学校就職関係者	3か月前よりはやや良くなっていると感じるが、原油の高騰や円高などの不安定要素が強く、当面、景気は現状維持が精いっぱいと思う。	
	就職相談員	採用はしているが、募集時の時給を下げている。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	お客様のお話からすると、旅行などに行く回数が減っている。手近で(近い所で)済ませるようだ。
		商店街代表者	テレビや新聞のニュースから、消費意欲が沸かないのではないかと。
		スーパー	株価下落、円高等の経済状況を受けて、消費はやや落ち込むと考える。
		コンビニエンスストア	昨年は天候も良く、客数も好調に推移しました。今年に関しては、昨年程の好天は期待できないのではないかと感じています。また昨年は、原発事故の影響で、行楽に行かず在宅傾向が強く、そういったお客様の来店が多い状況でした。今年は、行楽の動きも戻り、近隣住民の来店が減少する事が予想されます。そのため、景気はやや悪くなっているのではないかと思います。
		コンビニエンスストア	電気料金の値上げなど、家計への負担になる話ばかりが目立ち、コンビニへの来店は減ってくるように思われる。大型店での販売品などのまとめ買いに移行していくと予想される。
		自動車販売店	ボーナス商戦は、すでに昔の話であり、自動車業界の補助金も夏場でなくなる予想がされています。そのため、購買意欲も低下し、今より悪くなると思われます。
		専門スーパー	1人あたりの買い上げ点数が、昨年、先月と比べても0、1～0、3点減少している。

や や 悪 く な っ て い る	家計	和食食堂	電気代の値上げや政治の不安定等、不安要素が多く、財布の紐が固くなるのではと感じる。
		ラーメン店	先日、テレビ報道で夏のボーナスなどが下がるとか聞いておりますし、節電などで汗汚れなどを予想しております、帰宅される方が多いと思われます。道路交通法などの強化も、車社会の当地域ではかなり影響しており、一度帰宅されますと、外出される方は少ないと考えています。
		和食レストラン	今年は天候が不順なので、景気がもう一段下がるような気がする。
		旅行代理店	消費税が上がるとの不安感から、消費は控えるそうです。旅行の予約は少ないです。安値の物が売れ、高級な良い物は売れない。
		タクシー運転手	昨年同月対比の数字も低いまま、回復の兆しが見えない。
		ゲームセンター	本来なら5月は、他の月よりももっと売上げが伸びてもよいはずなのにあまり伸びなかった（他の月とあまり変わらない）。また、6月に入ると、お客様の来店数が大幅に減っているように思われる。このようなことから、景気はやや悪くなっていくのではないかと判断した。
		レジャー施設	社会情勢から考えてみても、景気好転の要素が見当たらない。
		クリーニング店	天候次第だと思います。安定すれば良いですが、不安定のままだと、衣替えや農業にも影響するかも。
		建築設計事務所	現在のような状態が続くだろう。
	企業	農業関係者	天候不順により、今後の農作物の病気回復に影響が予想される。
		製造業（食料品）	夏に向って電力使用料が増えるため、できるだけ省エネ対策はとったものの、間違いなく経費増になる。又、昨年迄あった季節物（中元期）の受注が無くなった事も大きい。
		製造業（印刷・同関連業）	7月1日から「電気料金値上げのお願い」が東京電力より届いた。労働時間は短く（時短）、消費税はアップ、そして電気料金もアップする。「入りを計って出づるを制す」を一生懸命に努力しても、もう限界だ。かつて日本人の70%が中流意識を持っていた時代は、安心・安全で犯罪も少ない心豊かな時代だった。
		製造業（印刷・同関連業）	売り上げの減少が止まらないために、単価を下げての受注にならざるを得ず、内容が更に悪くなる。
		建設業	原発問題や消費税増税の動きなど、政治が安定しない限り景気は良くならない気がする。
不動産業		賃貸の法人契約で、更新の際、賃料の値下げ要求が増加傾向にある。	
悪	家計	タクシー運転手	デフレの影響が懸念される。
		理・美容店	ボーナスもカットされる所が多いと聞くので、みんな節約志向になるのではと思う。

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	消費は美德が消滅し、物を購入する事（おしゃれなど）への罪悪感がはびこっている様子だ。マスコミによる原発、地震などの報道が、国民を不安に駆り立てているように感じられる。
	スーパー	地元の下請け工場（日立地区含む）では、休業日数が増加の声がある。回復する材料はない。
	小売業（燃料）	客の購買意欲が低いようだ。
	小売業（水産物）	魚の安全性についてお客様より問われることが多々あるが、勉強不足で販売する際に戸惑う時もある。福島原発問題が日本にとって大きな課題となるが、政界がどんな考えているのか不透明で、先行きを不安に感じている方も多い。
	小売業（時計）	商店街を60代の方が良く歩く様になって来た。菓子店等などは売り上げが伸びていると思う。
	居酒屋	来店客が少ない。
	スナック	新車を購入する人が増えているようです。
	和食食堂	人の流れが悪いようです。
	観光型ホテル	県外のお客様を中心に、放射線量を詳細に問合せの方が増えた気がする。テレビの報道が減った分、現地の状況を気にされている方が多くなっているのかもしれない。
	タクシー運転手	4月に入ってから、だいぶ売上が落ちている。
	タクシー運転手	衣料品購入でいえば、格安な品物を取り揃えるお店は、結構買物客で賑っている。商品はまいちでも、今の時代、庶民は安さが一番だと思っているのかなあ。
	タクシー運転手	この3か月での仕事で感じたのは、地元企業の深夜残業によるタクシー利用が減った事です。従って、深夜での大口のお客様が減りました。1つの仕事の売上げ単価が低くなった事により、タクシーの売上げが落ちた感があります。原因は不明ですが、地元企業の深夜の御利用を切望致します。
	ゴルフ場	ゴルフ場なので、プレーヤーの来場は土日がメインで、シーズン中は昨年まで土日の両日も込み合っていました。最近ではシーズン中であっても、日曜日しか客が入らなくなった。土曜日は、節電対策等で営業している企業が増えているとの事らしいです。
	ゴルフ場	節電対策による生活費支出引締めムードが心配である。また、いわき地区でのゴルフ場廃業の影響で、ゴルファーの茨城県への移動の気配が感じられる。
	レジャー施設	以前は、ハローワークに求人をお願いすると即ご紹介頂けましたが、最近はやや遅れます。県北地域の求人が増えてきた様に思います。
理・美容店	日立市は、リーマンショック以後あまり良くなかったが、昨年の東日本大震災後は更に街中の人が少なくなった。	
クリーニング店	お客様、消費者の皆さんは、電気料金の値上げに対して、多くの人が反対している。	
企業	林業関係者	全体的に下がりぎみではあるが、仕事的にはだんだん増えると思われる。
	水産業関係者	原発事故が早く収束できないかと頭が痛い。県北方面への観光バスが減ったままで、増加に転じない。放射線量は全く問題ないのに、風評被害が根強く残り、観光客が当方に来る事が極端に少なくなった。
	製造業（製缶）	夏場の電力不足、電気料金値上げ等のため、7～9月の出勤体制を工夫している。また、原子力関連の受注量が見込めない。
	製造業（電気機械器具）	人員の削減（整理）や残業時間の削減規制の動きが見られる。
	製造業（電気機械器具）	飲食店の値下げ競争が激しい。特に牛丼店。400～500円で食事ができることは消費者にとっては嬉しい事だが、果たして適正価格なのだろうか。お互いの身を削った消耗戦になっており、また、デフレがますます進んでしまうことになると思う。過剰な値下げ競争は、景気にとって良くないことだと思う。
	製造業（輸送用機械器具）	円高のためか、極端に仕事が減少した会社の話を聞いた。
	製造業（電気機械器具）	国内経済状況、円高等により、周りの小規模企業にも「海外」を視野に入れた経営活動が見られる。
	金融業	震災以降、生活防衛に備え貯蓄ニーズが強まり、消費を控える傾向が依然として続いている。円高の問題や増税の動きもあることから、更に財布の紐が固くなると思われる。
雇用	学校就業関係者	公共職業安定所から紹介される職業訓練受講者の応募者の中に、円高が理由で会社を退職した方がいた。ヨーロッパの金融不安などの影響が身近に感じられた。
	求人開拓員	家電品部品のプラスチック成形（金型から一貫したライン）を請負っている事業所では、仕事量が増加しているようだ。技術力を持っている企業と、単なる下請け企業との格差が出てきている。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	夏を前に、いろいろな業種からたくさんさんの節電商品が発売されている。新たな需要となり景気回復につながってほしい。
	商店街代表者	県より、中小企業等、グループ施設等、災害復旧事業の補助が実施される事で、水戸市の中心街がグループになり申請をすることになり、3月から4月にかけて、水戸駅から大工町の中心商店街会長が自主的に集まり協議が2度行われました。これをきっかけに中心街で連携を図り、まとまって何かアクション（促進・イベント・賑わい事業等）を興そうという機運があります。
	百貨店、総合スーパー	昨年は震災の影響で売上高が低迷したが、徐々に平成22年実績に戻りつつある。
	百貨店、総合スーパー	旅行されるお客様が目立って増えている。特に海外に行かれる方が増加し、また、海外でブランド商品を購入して帰ってくる方が多くなっている。
	スーパー	各種イベントが盛り上がらない。厳しい状況下で、各業界共に苦戦していると思う。スマホ、SNSなどの各種メディア情報で、行動しなくても満足してしまう。
	コンビニエンスストア	少々高額な商品であっても、それに見合う価値を感じる物は売れている。日頃の消費財に関しての支出は控えめにしている中で、好きなもの（嗜好性の強いもの）への支出は増加している。
	農産物直売所	メイン販売品目のメロンの売上が、平成22年度と比べて15%減となっている。平成23年度と比べて105%の金額だが、大きな箱でなく小さな2個入の箱中心の荷動きとなっており、客単価はマイナスとなっている。
	専門スーパー	必要な物でないと、いくら安くしても、物を買わないお客様が増えてきている。
	スーパー	近くのスーパーマーケットの横にホームセンターができるので、食料品を購入するお客様が減ると思います。
	レストラン	電気料金値上げや、消費税率引き上げの話題を耳にすることが多くなった。
	レストラン	最近では、同窓会でご利用頂くお客様が増えています。特に、60代以上の年齢層が多くご利用頂いています。
	都市型ホテル	東京方面からのお客様が、震災前と比べ半減したまま回復していません。
	観光型ホテル	観光客は繁忙日集中型の傾向が強く、平日の動きがカギになると思う。
	タクシー運転手	6月6日に長年当社を利用していました企業の店長様が交替となり、「今年は以前の様にタクシーを使う事がない」との通達があり、我々はがっかりしています。原因は、大幅な収入減との事です。それで、新店長様は自ら車を運転するとの事です。これは一企業の話だけではなく、これからも同じ様な事があり得ると思います。そう思いますと不安です。
	タクシー運転手	茨城県は被災地でありながら、東北と違い空白地帯となっているように思える。
	旅行会社	個々のお客様で、小型タクシーなどを使用して成田、羽田へ行かれる方が多くなってきています。
	ドライブイン	中心市街地の商店もシャッターが閉まっている所も多く、夕方、店を閉める時間も早い。前から思っていた事ですが、さびしい感じがします。
	観光名所	昨年の風評被害で、来館を見合わせていた神奈川県団体が、本年は再び予約を入れてくれました。
	ゴルフ場	東電の見解では、茨城県のゴルフ場は観光業とは認めておらず、料金の値上げなどはすぐには実施しても、補償に関する見通しは全然進展を見ない。苦しい経営環境が続いています。
	レジャー施設	お土産品等も比較的単価の高い商品の動きが良くなってきているので、購買意欲は出てきていると思われる。
理・美容店	景気が良くなってほしいです。忙しい職業もありますが、お金が町の中に流れないのです。	
企業	農業関係者	震災による家屋の修繕が最近増えている。
	製造業(食料品)	購買点数が減っている。
	製造業(一般機械器具)	仕事量も少なくなってきた感じがする。ガソリンはやや下がってきました。
	建設業	仕事柄、震災における備への購買力を感じる。その点贅沢な娯楽、設備は控え気味です。
	運輸業(道路貨物運送業)	東日本大震災で傷んだ道路の補修工事が各所で行われている。
	情報通信業(情報サービス業)	相変わらず、休日における郊外ショッピングセンターは、多くの人出で賑わっている。特に雨の日の混雑振りは、駐車場を探すのに苦労する状態である。転じて、魅力的商品を揃えてあっても、中心商店街の人出は残念ながら決して多いとは言えない。車社会の現象と言われているが、買い物だけではなく、長時間にわたって家族揃って楽しむことの出来る環境も、集客における大きな要素になっていると改めて感じている。
	金融業	大手企業によるマンション建設が目立っている。
サービス業(コンサルタント業)	水戸市の中心市街地においては、依然として厳しい経営環境が続いているものの、イベント等では客足が戻ってきている。特に、4月の飲み歩きイベント「水戸バーバルバル」は約4千人が参加し、5月の街コン「MITOコン」も3,800人が参加するなど、まちの賑わいづくりにつながっている。	

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	鹿行地域においては、4月の鹿行新大橋の完成に伴い、交通量及び、地元以外のナンバーの車（土浦をはじめ、千葉、野田、柏、東京のナンバーの車）が非常に多くなったと感じています。今後、この動きが、鹿行地域の経済効果にどの様な形で表れるか関心を持っていきたいと思っています。
	商店街代表者	郊外の住宅地・バイパス沿いに1000㎡以下のドラッグストアが2店舗出店し、今後、商店街への影響が不安視される。
	スーパー	チラシの特売の初日に集客がある。お客様は、それだけチラシの目玉商品に対してよく見ている。また、依然として高校卒業後の地元の働き口が少ない。
	コンビニエンスストア	たばこの売上は下がり始めている。エリアへの人の流入が昨年に比べ減少しているからと考える。コンビニナートの定期修理については52万人で、昨年比で減少しており、たばこの販売数値に表れている。
	自動車販売店	AIJ(投資顧問) に加入している業者が知人の人達にいる。大変な事態にならないと良いと思う。
	小売業（酒類）	サラリーマンの方の夕方～夜間の客数が半年前より回復しています。若干ではあるが、外国人労働者のお客様としての来店がまた見られるようになった。
	小売業（金物店）	大手企業同士が合併するらしい。
	小売業（書店）	当店の近隣に（数店舗ではあるが）店舗が出来、また出来る予定もある。こうしたことが、地域の活性化につながれば非常に嬉しい。
	洋食食堂	旧市街地に対して、幹線道路側に大型店、専門店が続々と出店しだしている。
	割烹料理店	震災後の復旧作業が行われて自宅の前を直しているが、1か月で少しの距離しか進まない。元に戻るには大変だが、工事を請負っている会社などは、景気がいいようだ。
	日本料理店	ハローワークに募集したが、なかなか前回より人が集まらないので、就職状況が良くなっているのではないかと思います。
	観光型ホテル	レストラン（昼食）の利用者が、多少なりとも増えている。
	タクシー運転手	東電火力発電所（神栖）増設工事の影響が若干あったが、工事終息を期して、今後の影響が心配される。
	タクシー運転手	強いて言えば、企業の定期修理等が入っているので、スポット的には動いている。
	ドライブイン	農産物の売れ行きが震災以降悪い。原子力災害の風評被害が尾を引いていると思う。
	ゴルフ場	高齢者の方がよくご来場されていると思う。また、プレーだけでなく、商品の購入などもよくして頂いているのを見ると、少しずつではあるが、景気が回復してきているのではないかと思います。
	理・美容店	お客様の話では、レジャーに使う金額が増えているようです。
	クリーニング店	瓦屋さん以外の職業で、震災の後始末の仕事も徐々に減ってきている。60才以上の仕事がなかなかないようです。
	室内装飾業	地震から一年が過ぎましたが、あちこちで道路の整備が急ピッチに進んでいるようです。
企業	農業関係者	セシウムが水稻にどの程度の影響を与えるのか、皆が非常に危惧している。反面、2次加工品の売れ行きは上昇している。風評被害も薄れる傾向にあり、安堵している。
	製造業（食料品）	取引先の倒産があった。
	製造業（食料品）	4月から放射線基準値が改正され、風評被害が拡大されている。
	製造業（食料品）	建設工事・機械設備工事業者の状況を聞くと、震災復興の影響で少ない利益の工事を分け合って、厳しい受注でせざる得なく、状況は良く無い様です。
	製造業（化学工業）	この先どこまで荷動きが戻るのか、不透明感が強い。
	建設業	昨年は震災復旧工事受注があり、当社にとっては利益増となりましたが、全国的にみれば、建設業界は右肩上がりとならない感があります。労務不足も深刻だと思われまます。
	製造業（鉄鋼業）	レジャー施設等も、休日混雑している様子もない。
	建設業	震災のため、地震などが起こるという予測をマスコミ、新聞などで報道しており、また津波が起きるので怖いという思い込みなど、都会からの永住者が全然来ないです。
	運輸業（道路貨物運送業）	茨城県の農産物のセシウム濃度に関係する風評被害が何かと話題となり、今後の茨城県の経済動向を大きく左右する問題である。ある乳製品がインフルエンザに効くとの事から、値段は高いがいつも売れ切れ状態である。
	保険業	米作り農家が集約されつつある。
雇用	不動産業	物品販売も致しておりますが、平日のお客様の来店がここ何か月か悪いような気がする。駐車場を見ても、閉店前の2～3時間に集中しているような気がする。土地の動きが悪くなっている。早く原発の問題を解決してほしい。
	サービス業	震災復興に向けてお金が動き出す頃と考えており、海外情勢の低迷を補うようになってくれるとありがたい。
雇用	学校就職関係者	一時期、自粛ムードがあった気がしますが、スーパーでも品数等が揃い、お客さんも大震災前の通常にもどってきているような気がします。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	周辺の飲食店の閉店が目立った。
	スーパー	水道水の汚染（ホルムアルデヒド）問題の影響で、2日～3日間、飲料水が良く動きました。
	コンビニエンスストア	個人の嗜好や趣味に関わる商品は売れる可能性が強いと感じます。普段の生活で消耗する物は価格の安価な物が売れますが、個人的な商品は価値の高い物が売れています。
	農産物直売所	給料日前は1万円札が少ないが、20日過ぎは1万円札が多く、客単価も高くなっている。
	専門スーパー	永く使えるものが売れている。
	ガソリンスタンド	節電志向が高まっていると感じます。
	洋食食堂	私自身もそうであるが、震災での出費が大きくてとの声が多い。中心市街地でも、まだ5F～6Fのビルが使用出来ずに放置されているのを見ると、これからも厳しい戦いを強いられそうである。
	洋食食堂	大型美容室の開店が目立つ。
	寿司店	5月～6月にかけて組合の決算期で会合が多いですが、組合員数が18年ほど前より半分以下になっています。大型店舗の進出の影響でしょうか。とは言うものの、大型店も会費を下げてくれとか大変のようです。
	都市型ホテル	原発による外国人客の減少、学会開催で茨城県（日本開催）の見送りなど、今後さらに厳しい状況が感じられる。ここ茨城も相変わらず余震があり、観光客等のダウンも隠せない。しばらくの間厳しい状況と思われる。
	タクシー運転手	タクシーのお客様で、よく製薬会社様が利用してくれましたが、最近はチケットを発行しないので、利用がない。
	タクシー運転手	最近のテレビや新聞等で、株価の下落や今夏の電力不足による節電、電気料金の値上げなどを報道しています。今後、景気が上がる可能性は無いのではないかと。
	代行運転手	お金が回っていない気がします。外食や買物を控え、使う方が減っているのではないのでしょうか。
	タクシー会社	景気の回復に関する要因が全くないことが特徴である。
	ゴルフ場	法人の接待費等が削減されているようだ。先行き不安が強くなっているものと思われる。
	ゴルフ場	企業向け電気料金を安くする方法など、コンサルタント関連のアポイントメントが多くなった。この夏も厳しいと予想される。
	理・美容店	震災復興の財源の不安など、国力への不信ははかりしれない。間接的な国民への負担に不満を覚える。夏の電力増への不安、料金の値上げ案への不満は、一主婦といえど腑に落ちないでいる。省エネなど、生活の中での節約で協力している気持ちを裏切らないでほしい。
	建築設計事務所	最近、耐震診断補強の計画が開かれる。
住宅販売会社	太陽光発電や蓄電システムへのお客様の関心が高くなってきた。	
企業	製造業（家具・装備品）	毎日テレビ等を見ておりますと、将来に希望がわいて来ません。また、商店主も沈んでおります。明るい話も声も聞こえません。
	製造業（食料品）	国会が空転して何事も決められない内閣、その上、増税の話ばかりでは景気が良くなるとは思われません。
	製造業（飲料）	季節的なこともあると思うが、ゴルフ場の利用者が多くなったと思う。
	製造業（窯業・土石製品）	一部の新聞報道にもありましたが、岩手、仙台、郡山営業所からの情報では、がれき処理に人手、機材をとられ本来の仕事が遅れ気味で、内陸部の業者に一部信用状態が悪い会社が出てきているようです。
	製造業（非鉄金属）	東京電力の企業への17%程度値上げ要請については、これまで3回ほど話し合ったがコスト増は避けられず、特に10月以降は賞与を含め本格的な経費節減をせざるをえなくなるため、景況感は大幅に低下すると見込まれる。
	建設業	先月、家の隣の資材置場に施錠駐車しておいた2tダンプが盗難にあった。10年前に80万円で購入した中古ダンプである。今はいくらぐらいするのかとwebで検索したら、なんと100万円もするのである。20万円も値上りしてしまっている。これは景気が良くなってきていると考えるべきなのだろうか。
	建設業	近くで竜巻被害も発生しており、その関係者からの相談や改修の話しが持ちかけられ始めた。
	金融業	個人・法人共に税金未納で税務署からの調査依頼が依然として多い状況である。
	不動産業	政治、経済、社会、国際的に見ても、日本の立場が世界的に厳しくなっていると思っています。社会貢献、奉仕等の企業としての姿勢が問われて来ている。
雇用	人材派遣業	半導体業界に於ける景気の悪化が著しく見られる。
	公共職業安定所	当所の4月の雇用保険被保険者取得数(入社)は、対前年同月比15、2%、喪失数(退社)は-0、5%であった。
	学校就職関係者	自動車・レンタル重機などの業界では人手不足らしく、すぐに採用できる人材がいらないか、来年度卒業生の求人についても足りないかと2次募集の声がかかり、景気のいい様子が見える。
	求人開拓員	正社員を募集する会社が、件数的に増えている。しかしそれは、製造業の単純作業ではなく、一級土木や建築、IT関連の専門資格を有する求人であり、複数採用ではなく、1つの求人票に1人の求人である。最近目立つ失業者を吸収するほどでは全くない。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	以前からだが、週末の商店街はひどい。まだ月～金曜日の午前中の方が活気がある。高齢化しているせいかな？
	スーパー	やはり、安価な商品の動きが良いようである。特に、品単価の下落が数値にも表れている。
	コンビニエンスストア	消費税増税、電気料金の値上げに関して敏感になっている人が多くなっている。時期が決まらないまま話だけが先行しているので、不安ばかりあおられている為、消費は理由が不明確なまま鈍ってきている。
	自動車販売店	この地域の製造業、小売業も元気がなく寂しい限りです。法人、個人事業主様からの注文が少なく、個人客が8割以上を占めます。活気ある製造業の再開を強く望みます。どの業界の社長様も元気がなく悲しいです。
	ガソリンスタンド	油の掛売りでのお客様も、他の安いセルフに流れたり、又、価格を毎週見積りするよう要求してきたりしている。
	ラーメン店	モノ作り日本と言われる中で、生産業界の不況が一番の(すべてにおいて)景況悪化の要因と考えてまして、今後さらに悪化すると考えてます。潤沢な資金力のある大型店やフランチャイズ展開している企業には、個人営業はかなり減少していくものと考えてます。
	和食レストラン	円高や株安のため、他業種の製造業の仕事が少ない。
	旅行代理店	燃料費は少し下がっていますが、野菜などは高値のままです。自動車の減税があり、売れているメーカーもあるそうですが、全体的に冷えています。居酒屋などは、閉店するなど厳しいようです。
	ビジネスホテル	一時的に減少していたブラジル人等が戻ってきているような状況である。以前より街中で見かける事が多くなった。
	タクシー運転手	よく携帯電話の店の前を通りますが、だいたいいつも駐車場には車がたくさん止まっており、携帯関係はやはり景気が良いのだと思う。我々の業界も常時お客様が切れる事なく乗車してもらえれば助かるのにと考えてしまう。
	タクシー運転手	5月に、市内に大手自動車メーカーの部品配送工場が稼働するようになり、全く新しい関連の企業も稼働し、経済の活性化に期待する。
	タクシー運転手	消費税値上げとなれば、社会への影響が大きく、経済のブレーキになると心配される。
	ドライブイン	野菜を扱っているため、原発事故以降、放射線量に関する問い合わせも多かったが、最近では少なくなった。
	ドライブイン	最近、まとめ買いのお客様があまり見受けられない。
	ゲームセンター	当店だけでなく、近隣のゲームセンターも、新規のゲーム機の購入は以前に比べ控えているように思われます。
	理・美容店	車関係の方は仕事はかなり忙しいみたいを感じる。
	理・美容店	近くの工業団地では、工場の閉鎖が多い。このままなくなってしまうのかと心配だ。
	建築設計事務所	お金を使う人と使わない人の差が激しい。中間層が薄い。
住宅販売会社	ゴールデンウィークのような一過性のもではなく、継続的にみられるような特徴的な動きは今のところ感じられない。	
企業	農業関係者	直売所での月間売上げはあまり変動していない。
	農業関係者	震災以降、住宅新築や自動車購入の動きは若干ある。
	製造業（食料品）	アルバイトの求人を半年ぶりに行いましたが、昨年11月の時点ではタイの洪水の影響で日本で増産を行っている会社があり、急激に高単価で多数の人員を集めていた影響から人が集めにくい状況でしたが、今回はある程度集めることができました。これは景気には関係ないと思われませんが、タイの代替製造は終わったようです。
	製造業（食料品）	自分の回りだけかもしれないが、少し前と比べると、新しいもの、新機能の付いたものに飛びつかなくなった気がする。以前だと、新製品が発表されると誰かしら購入していたが、最近は減った気がする。
	製造業（印刷・同関連業）	過日、東京浅草方面へ出掛けた。「東京スカイツリー」の人気ですごい人出だった。結構なことだが、東京一極集中にますます拍車がかかりそうだ。昨年の東日本大震災の復興もまだまだなのに、被災地を忘れないでほしい。
	製造業（窯業・土石製品）	建設業関係は、復興需要で好況と聞く。
	製造業（窯業・土石製品）	今まであまり見受けなかった瓦の屋根の修復作業が身近で見られます。このことは、震災の特需がだんだん少なくなってきた証明だと思います。資源の少ない我が国は、加工貿易により輸出を伸ばし、経済が発展してきました。今後も、国内のみならず、諸外国へ目を向け、ニーズをつかむ政策が大変重要だと感じています。そうでないと、国際競争に打ち勝てず、先進国から脱落する事になると思います。
	製造業（金属製品）	製造業では、海外生産による空洞化が進み、業界として大きな転換期となっている感がある。
	建設業	旧市内に大きなスーパー等が無くなり、買い物に不便をきたしている。
	電気工事業	客先より、工事価格についてほとんど定価を指示され、営業が厳しい状態が続いている。

企業	金融業	個人消費者は震災後に旅行など控えていたが、最近では遠方（海外含む）に出かける方々が見受けられる。
	不動産業	一般住宅が売買に苦労しているので、ハウスメーカーがアパートを積極的にセールスしている。
	サービス業（コンサルト業）	県西地域には大手企業の進出に伴い、その工場周辺でのアクセス道路の新設や整備が盛んに行われており、近辺は大変活気づいています。又、工場から4～5kmのところには、従業員を見込んでのアパート建築が行われています。
雇用	人材派遣業	建築基準法の改正により、仕事（求人）が忙しくなりそうです。
	学校就職関係者	求人の件では、リーマンショック以降落ち込んでいた中小企業（製造業）が、やっと持ち直してきた企業と立ち直れない企業の二極化が見られる。
	就職相談員	企業の求人は、パート、アルバイト、派遣等、非正規の求人が多く、業務量と賃金に対する、企業と求職者の考え方に、格差があるように思える。